

I 平成26年度 総括

当財団は、公益財団法人として「自律と貢献の公益経営」を目指し、「文化及び芸術の振興に関する事業」、「青少年の健全な育成に関する事業」、「生涯学習活動の推進に関する事業」を3つの根幹事業と位置付け、「創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現への寄与」に向けて、公益目的事業を推進してまいりました。

平成26年度は、第3期の指定管理期間の初年度として、青少年センターと交流館との連携事業の「キッズタウン」、コンサートホールや科学体験館の「アウトリーチ事業」、文化事業課による地域の資源を活用した「農村舞台アートプロジェクト」など、当該施設単独で事業を実施するだけでなく、各施設間の連携、関係団体との共働によりそれぞれの専門性や強みを相互に活用し、様々な魅力ある新たな事業運営に取り組んでまいりました。

施設運営においては、当財団が長年にわたり蓄積したノウハウを活かし、平素からコストを意識し無駄を省きつつ、常に良好な状態を維持する事に努めました。そして、合理的・効率的な業務の推進を図る一方、市民の皆様が快適で安全にご利用いただけるよう、常に利用者の視点で考え、施設が市民の皆様に、愛され、信頼されるよう、利用者ニーズに沿ったサービスの提供を図ってまいりました。

また、平成27年4月に青少年センターが産業文化センター内に移転されることを踏まえ、産業文化センターを青少年健全育成における重要拠点として位置付け、今後も当財団が運営を続けていけるよう、これまでの実績のアピールと今後の新たな事業展開に対する提案を積極的に実施してまいりました。さらに、平成24年度から平成28年度までを対象期間とした「公益経営戦略ビジョン」の中間検証を行い、ビジョンに掲げる目標に対し進捗状況の確認と見直しを行いました。そして、時代の変化に対応できるよう、取り組みが遅れている項目については現状を適切に把握し、今後の方向性を決めました。

今後も役員、職員一丸となって公益の担い手としての責任を果たすことで当財団の存在感を高め、その役割を広く市民の皆様にご理解いただけるよう努力してまいります。

1 市民文化の推進

- 「文化芸術振興計画」の基本理念「ふるさとの文化を継承し、新たな文化を創造して、人が輝き誇りがもてるまちづくりをめざす。」を指針に、文化・芸術と出会う機会の充実、文化・芸術活動の機会の提供、文化振興を担う人材の育成・活用に重点を置き、事業を実施してまいりました。

- コンサートホールでは、米国の著名なピアニストである巨匠「マレイ・ペライア」の弾き振りで、英国の名門「アカデミー管弦楽団」の名曲コンサートを開催しました。また、カザルス弦楽四重奏団、ザ・フィルハーモニクス、フィンランディア男声合唱団などコンサートホールの規模や音響を活かした企画や、ウィーン・フィルとベルリン・フィルのコンサートマスターによるリサイタルなどを開催し、質の高い公演で多くのお客様に喜ばれました。

能楽堂では、「俊寛」「二人静」「邯鄲」など人気の高い名曲や人気狂言師・野村万作、萬斎による狂言づくしを上演。そして、好評の伝統芸能シリーズでは、民謡や神楽など郷土芸能と絵解きや講談・人形浄瑠璃など語りの公演を開催しました。また、約500年ぶりに復曲した復曲能「吉野琴」を上演したところ、その模様がNHKにより収録されるなど、新たな試みにより豊田市能楽堂を全国にPRする機会を得ることができました。

平成25年度から取組んでいる招聘アーティストによる学校訪問や演奏クリニックなどのアウトリーチ事業においては、能楽師による訪問も新たに加え、青少年が身近に音楽や古典芸能と接することのできる機会を提供することに努めました。

- 市民文化会館では、伝統文化に気軽に触れ興味や関心を持ってもらえるよう「歌舞伎フォーラム公演」の開催、親子で舞台芸術に楽しく親しむ「ディズニーライブ」の開催、良質な伝統文化落語を堪能する「とよた寄席」の開催など、市民が文化芸術に親しむ機会を提供しました。

また、より安全な管理運営を目指して、お客様や演奏者にもご協力いただいた「避難訓練コンサート」の開催や、文化施設に触れるきっかけづくりと親しみやすさをアピールする「舞台ウラ探検」などを開催し施設の管理運営にも工夫を凝らしました。

- 文化活動者の社会貢献の場として、また、子どもたちが文化・芸術に出会う機会を拡充するため、和楽器、日本舞踊に加え、新たに9小学校で音楽、国語、図工、演劇の鑑賞・体験プログラムを取り入れ、市内小中学校を対象に「文化活動者派遣事業」を実施しました。また、地域活性化のため地域住民とともに、地域の文化資源である農村舞台を活用した「農村舞台アートプロジェクト2014」では、文化庁の補助金を活用し、藤岡地域などで6か所の舞台公演と10か所のアート展示、フォーラムを実施しました。さらに、文化団体や市民の発表の場として稲武地域で「とよた市民芸能交流大会」を「ふれあいまつり」と同時開催し、文化・芸術活動の機会の提供と質の向上に努めました。

- 次世代の文化を担う子どもたちの育成として、半年間の演劇活動を通して創造力や表現力を培う「こども創造劇場」、舞台芸術分野での人材育成として「演劇アカデミー」を実施しました。また、文化活動者のスキル、知識や経験を活かす「夏休みこども博覧会」などを実施することにより、人材の育成・活用に努めました。

2 青少年の健全な育成の推進

- 青少年センターでは、青少年の居場所づくり、青少年の社会参画・自主的活動の場を提供するため、「とよたキッズタウン」「フリーサロン」などの事業を青少年サークル・団体との共働により実施しました。未婚・晩婚化やニート・ひきこもりなど、若者を取り巻く課題に対応するため「クリスマスパーティー」「自立支援相談会」などの支援事業も積極的に推進しました。また、平成 27 年度の産業文化センターへの移転に向けて、施設・備品の運用方法や利用受付基準などを整備し、青少年活動の拠点施設としての基盤づくりに取り組みました。
- 総合野外センターでは、子どもたちが自然のすばらしさを体験し、集団での野外活動を通して仲間づくりや協力することの大切さを学ぶため、「山の子学級」「六所のつどい」「チャレンジキャンプ」などの事業を実施しました。また「ファミリーキャンプ」「親子 d e キャンプ」では、日常生活では得られない親子のふれあいを深める活動プログラムの提供に努めました。
- 産業文化センター（とよた科学体験館）では、「プラネタリウム投映」「サイエンスショー」「ワークショップ」など数多くの事業において、企業や大学・高専・研究機関・ものづくり団体などとの連携を図り、専門性が高く知的好奇心を育む事業を推進しました。また、交流館との共働による「小中学生天文クイズ」、中学・高校科学部の活動成果を発表する場として「サイエンススクール」を実施し、サイエンス・リテラシー（応用力・活用能力）の育成を図りました。

3 生涯学習活動の推進と地域活動の支援

- 豊田市の交流館運営基本方針に掲げる「人づくり・地域づくり・生きがいつくり・地域活動の担い手づくり」を推進するため、家庭教育講座、子ども・高齢者向け講座、環境・防災・防犯講座など、市民に生涯学習の機会を提供しました。
- 地域における住民の育ちあい・学びあいを推進するため、交流館自主グループや地域の人材を活かし、講師となって地域住民に教えるための支援と、地域人材が交流館を活用し、地域づくりに資する事業を行うための支援を行いました。
また、子どもを地域活動の担い手とするために、地域住民が子どもに対して行う事業の支援や、子どもが地域活動へ参画することを目的にした事業に取り組みました。
- ESD（持続可能な社会の担い手づくり）の視点を取り入れ、地域課題の掘り起しや地域資源を活用した事業を展開し、将来にわたって住民や団体をつなぐコーディネーターとしての役割を果たしました。
- 財団の管理する施設が特徴や強みを持ち寄り、スケールメリットを活かした新たな事業展開を生み出すため、平成 25 年度に引き続き「施設情報交換会」を開催しました。また、これにより生み出された「豊田市小中学生天文クイズ大会」は、5 地区の交流館で予選を開催し、科学体験館プラネタリウムで決勝戦を行いました。
- 子ども達が地域に愛着を持ち、将来にわたって「地域の担い手」となることを目指して、青少年センターと共働し、「竜神☆キッズタウン」を開催しました。実施にあたっては、こどもスタッフ会やこどもスタッフにコミュニティ会議のメンバーなどを加えた全体会を開催するとともに、交流館職員から公募した実行委員も企画の段階から携わりました。
- 住民同士のふれあいと交流により地域の絆の大切さを深め、地域力を引き出すため、コミュニティ会議や地域で活動する団体などと共働で「生涯学習フェスティバル 交流館祭・ふれあいまつり」を開催しました。

4 自律した財団経営の推進

- 一般財団法人地域創造及び名古屋市科学館へ職員を1名ずつ派遣し、専門性の向上に必要な幅広い視野と技術、知識を身につけた人材を育成しました。
- 職員行動規範「輝くぶんしん職員の心得10か条」の実践による市民サービスの向上を図るとともに、「人財育成プラン」を生かした研修制度の充実を図り職員資質の向上に努めました。
- 継続して財団を支援していただける賛助会員の獲得、交流館に付随する体育施設などに飲料水自動販売機設置の拡大を図るとともに、文化情報誌「カレント」や財団のホームページへ広告掲載枠を設け広告料を募るなどの方法により、自己財源の獲得手段を広げ、財政基盤の安定化を図りました。
- 一般職員に再任用制度を導入し、定年後も65歳まで雇用する環境を整備することで、ベテラン職員が長年培った知識・経験の有効活用を図りました。

Ⅱ 平成２６年度事業報告

【１ 文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業：定款第４条第１号事業】

音楽専門ホールを始めとする文化施設等を活用し、文化・芸術の振興を図るため、舞台芸術を中心とした自主公演や主催公演、芸術分野（絵画、書、写真、工芸等）における作品の展示会を実施することで、市民の方々に文化・芸術に直接触れる機会と場を提供し、質の高い文化・芸術の創造と発信、普及を図りました。

（１）文化・芸術に触れる機会を提供する事業

主な事業

○ 農村舞台アートプロジェクト２０１４（文化事業課）

地域発信型のアートプロジェクトとして、全国的にも例のない本市の地域の文化財である農村舞台を活用した様々な取組を文化庁の補助金を活用し、実施しました。平成２６年度は新たに、各界の専門家、アーティストらを招き、市民文化会館にて「フォーラム」を開催し、本事業を全国へ発信しました。フォーラム内では、市内外のアーティストによる実演やプレゼンテーション、シンポジウムを実施し、市民が農村舞台でアーティストと出会う機会づくりをしました。また２５年度に引き続き、農村舞台を「ギャラリー」や「劇場」として活用し、展覧会やライブを地域住民と共働で開催し、伝統文化の再生や、新たな地域文化の創造により地域の活性化を図りました。

○ 加藤矢舟 豊田芸術選奨受賞記念展（文化事業課）

芸術に触れ合う機会として、平成２４年度豊田芸術選奨を受賞された書道家の加藤矢舟氏の芸術を広く市民の方々に紹介しました。

○ こどもによる日本の伝統芸能（文化事業課）

地域や小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ子どもたちを集め発表会を行い、後世への伝統芸能の継承を図りました。また、青少年センターの「こども茶華道教室」受講者による茶席や華展も同時開催し、事業相互の参加者の交流や新たな体験の機会を提供しました。

○ 歌舞伎事業（市民文化会館）

元来「庶民の芸能」として親しまれてきた歌舞伎、この伝統文化に市民が気軽に触れる機会を提供し、興味や関心を抱くよう歌舞伎事業を開催しました。内容は、独特な化粧や絢爛な衣裳についてのワークショップ、歌舞伎舞踊の鑑賞、埋もれてしまった名作をわかりやすい解説を付けて、現代口語調で復活させた歌舞伎公演の鑑賞でした。また、市内の農村歌舞伎連絡協議会と連携協力を図り事業を推進しました。

○ マレイ・ペライア&セント・マーティン・アカデミー管弦楽団（コンサートホール・能楽堂）

英国の名門「セント・マーティン・アカデミー管弦楽団」と、米国の著名なピアニストである巨匠「マレイ・ペライア」の弾き振りによる名曲コンサートを開催しました。

○ 特別公演（コンサートホール・能楽堂）

約500年ぶりに甦った観世元雅（世阿弥の嫡子）の幻の名作「吉野琴」を片山九郎右衛門が復曲上演し、NHKにも収録されました。公演前には、復曲を監修した法政大学名誉教授・西野春雄による復曲についての解説も実施しました。また、一年を締めくくる年貢納めという目出度い祝言性も持ちながら、贈収賄の人間模様も見え隠れして三者の駆け引きが笑いを誘う百姓狂言の中で異色の作品「佐渡狐」を大蔵流・山本則俊が演じました。

【2 文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業：定款第4条第2号事業】

文化・芸術に関する分野の人材を育成するため、受講者・参加者を募り、講座・体験活動・競技会を通して、文化・芸術に関する知識・技能の習得を図る事業を実施しました。

（1）文化・芸術に関する専門知識・技能の習得を目的とした講座を行う事業

主な事業

○ 舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー（文化事業課）

総合舞台芸術である演劇を通して、演出、プロデュース、広報など舞台制作一般を学ぶ機会を提供し、地域における文化・芸術ボランティアの人材育成を図りました。

○ 歌の昭和史 ～みんなで歌おう 懐かしい歌を～（コンサートホール・能楽堂）

学校唱歌・童謡・叙情歌など、懐かしい歌のオリジナルを聴き、来場者も共に歌う聴衆参加型講座を開催しました。

○ 能狂言が見たくなる講座（コンサートホール・能楽堂）

歌舞伎・中国の歴史・和歌など能狂言に関連した分野から造詣の深い講師を迎えて、能狂言を様々な角度から楽しんでいただく講座を開催しました。

（2）文化・芸術の様々な技能の習得を目標とした体験活動を行う事業

主な事業

○ 文化活動者派遣事業（文化事業課）

市内の小中学校を対象に、日本の伝統的な和楽器・日本舞踊だけでなく、新たに音楽・演劇・美術などの芸術を鑑賞したり、実際に体験したりする活動を通して、日本の伝統文化や芸術に対する理解を深めるとともに、子どもたちの表現力の向上や感性の育成など「生きる力」を育むことにも貢献しました。

○ こどものアート体験プログラム（文化事業課）

市内を中心に活躍する文化活動家（アーティスト）を講師に迎え、子どもたちが興味を抱いて気軽に参加できるアート体験をワークショップ形式で運営し、次代を担う子どもたちが文化・芸術活動に出会う機会を提供しました。また、交流館などと連携してアート体験で作った作品を展示し市民に見ていただく機会を提供しました。

○ パイプオルガンを楽しむための講座（コンサートホール・能楽堂）

パイプオルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうため映像・演奏・お話による３回シリーズの講座を開催しました。

（３）文化・芸術に関する技術・技能の習得を目的とした競技会を行う事業

主な事業

○ 第１０回とよたふれあい将棋フェスティバル（文化事業課）

こども対象の将棋大会の他、親子で参加できる将棋指導対局や将棋の基本を学べる将棋ふれあいコーナー等を通じ、技術・技能の習得と親子のふれあいの機会を提供しました。

○ 第３５回とよた囲碁まつり（文化事業課）

市内の愛好家が集う囲碁の祭典として、大人、子どもを対象とした囲碁大会やプロ棋士による指導碁、基礎から囲碁を学べる入門講座、大会優勝者とプロ棋士による公開囲碁対局を通じて、技能の習得と市民の交流を図る機会を提供しました。

【3 文化・芸術の振興に関する表彰、

助成等を行う事業：定款第4条第3号事業】

文化・芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表といった、地域住民の主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励するため、文化・芸術の振興に功績のあった個人や団体の表彰、コンクールの実施や文化団体等への助成を行いました。

（1）地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため表彰を行う事業

主な事業

○ 平成26年度財団大会（文化事業課）

地域の文化振興に業績を挙げた功労者を表彰し、主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励しました。

（2）地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するためコンクールを行う事業

主な事業

○ 第22回とよたフォトドキュメント2014（文化事業課）

豊田市内の出来事や市民の生活・風習を捉えた写真を募集し、展示会を開催することにより、故郷を見直す機会の提供と後世に伝えていきたい今の豊田市の姿を記録しました。

また、豊田市の財産である歴代の入賞作品の展示会の開催に向けた準備を進めました。

（3）地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため助成を行う事業

主な事業

○ 市民参加事業（文化事業課）

「とよた総合文化フェスティバル」への参加団体を公募し、認定された市民団体の文化行事に対して、助成を行い、文化・芸術活動の支援・奨励を行いました。

○ 文化団体活性化事業（文化事業課）

文化団体の開催する事業を後援し広くPRするなど、地域で活動する文化団体を様々な角度から助成することで自立と活性化を推進し、文化による地域づくりを支援しました。

【4 地域文化に関する調査

及び情報の提供を行う事業：定款第4条第4号事業】

地域文化の保存、伝承、普及を図るため、地域文化に係る調査・資料収集を行い、その情報を市民に提供することによって、文化・芸術情報を広く市民の方々に提供し、もって地域文化の保存、伝承、普及を図りました。

（１）地域文化の保存、伝承、普及を図るための調査、資料収集を行う事業

主な事業

○ とよた定点観測（文化事業課）

毎年4月1日に豊田市駅周辺の定められた場所でのビデオ撮影、また年間を通じて豊田市全域の定められた場所で写真撮影をし、街並みや自然、人々の生活を捉え、継続的なデータ保存を行いました。

また、今までに保存してきたデータを、市民の皆様に公開し、街並み等の変遷を実感できる展示会の開催に向けた準備を進めました。

（２）地域文化の保存、伝承、普及を図るための情報の提供を行う事業

主な事業

○ 文化情報誌「カレント」発行（文化事業課）

市内の文化情報を網羅した情報誌を年4回発行し、地域の文化・芸術情報の提供を行いました。また、新たに広告掲載を募集し実施しました。

○ C A T V文化情報番組制作（文化事業課）

地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作し、ひまわりネットワークで放映しました。地域住民へ地域文化の保存、伝承、普及を図るための情報の提供を行うとともに、財団が主催する事業をPRしました。

【5 青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を 養う機会と場を提供する事業：定款第4条第5号事業】

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中、青少年の健全な育成を図るためには、家庭、学校、地域社会が連携を密にし、子どもたちの自立と社会参加を促す努力を重ねることが求められています。青少年育成施設等を活用して青少年の健やかな成長を育むため、講座や体験活動を実施し、併せて自立支援・相談体制を強化し、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場の提供を行いました。

（1）青少年の健全育成を図るための機会の提供を行う事業

主な事業

○ 高校生ボランティアスクール（青少年センター）

保育・福祉・レクリエーション・ものづくりの4コースのボランティア活動体験を通じて、自立心と思いやりのある高校生のリーダーを育成しました。

○ クリスマスパティー（青少年センター）

募集した青年たちによる実行委員会がクリスマス会を企画運営し、若者に男女の出会いと仲間づくりの場を提供しました。

○ 小学校、中学校の宿泊を伴う体験活動（総合野外センター）

小学校5年生のキャンプ、中学校1年生の宿泊学習の目的の達成のために、総合野外センターの施設・自然を活かした活動を支援しました。

○ 六所のつどい・山の子学級・チャレンジキャンプ（総合野外センター）

集団での野外活動体験を通じて、自然のすばらしさや大切さを知るとともに、仲間づくりや協力することの意義を学び、子どもたちの社会性や豊かな人間性の育成を図りました。

○ プラネタリウム投映事業（産業文化センター）

子どもから一般成人まで幅広い世代、ニーズに対応した番組を企画し、投映しました。また、生解説のオリジナル番組「星空散歩」をはじめ、地元演奏家とのコラボレーションによる「星空散歩ライブ」、「子育て支援投映」、「国際交流投映」などにより、利用層の拡大を図りました。

○ ワークショップ（産業文化センター）

大学や高専などの教育機関やものづくり団体との連携を深め、子どもたちの学びの段階に応じたサイエンス事業を提供しました。

○ サイエンススクール（産業文化センター）

中学校や高校の科学部に呼びかけ、サイエンスショーに取り組み、科学体験館や交流館などでの発表会を実施し、地域での科学習得レベルの向上を図りました。

【6 青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言

その他の支援を行う事業：定款第4条第6号事業】

青少年の健やかな成長を育むため、少年少女合唱団、ジュニアマーチングバンド、ジュニアオーケストラの運営及び子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなど青少年団体の運営を側面的に支援し活動の活性化をサポートしました。

（1）音楽活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

主な事業

○ 豊田市青少年音楽活動実施事業

音楽3団体の活動を企画運営し、演奏活動を通して青少年の豊かな情操を養うとともに、定期演奏会、各種イベント出演などを通して社会参加を果たし、豊田市の青少年の音楽活動の中心となり、音楽文化の向上に寄与しました。

① 豊田市少年少女合唱団（文化事業課）

定期演奏会、合唱コンクール、各種イベントへの出演に加え、今年度は「宝塚国際室内合唱コンクール」、「こどもコーラス・フェスティバル」、「声楽アンサンブルコンテスト全国大会」など著名な大会に参加し、演奏を披露しました。また、様々な団体と交流を図りながら、レベルの向上に取り組みました。

② 豊田市ジュニアマーチングバンド（文化事業課）

定期演奏会のほか、地域に密着したイベントなどへ積極的に参加しました。また、マーチング東海大会をはじめとする各種大会への参加と3年連続の全国大会への出場を達成しました。そのほか、夏季合宿などを通して、青少年の豊かな情操を養いました。

③ 豊田市ジュニアオーケストラ（コンサートホール・能楽堂）

夏と春の定期演奏会のほか、アンサンブルによる地域への訪問演奏など多くの市民に親しまれる活動を行いました。

(2) 青少年団体の育成支援を行う事業

主な事業

○ レクリエーション団体指導者派遣事業（青少年センター）

青少年センターを活動拠点とするレクリエーション団体と定期的に情報交換会を行うとともに、子ども会などにレクリエーション指導者を派遣し、活動支援を行いました。

○ 青少年団体共働事業「とよたキッズタウン」（青少年センター）

青少年センターを活動拠点とする団体・サークルの青年たちが、子どもだけの模擬都市「とよたキッズタウン」を作りました。参加した子どもは青年に働くことを教わり、青年は子どもへの支援の在り方を学習しました。

○ 豊田市青少年団体傷害互助会事業（青少年センター）

青少年団体の活動の安全確保と事故防止のため、安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対して見舞金等の給付を行い、青少年団体の支援を行いました。

○ キャンプインストラクター養成講座（総合野外センター）

日本キャンプ協会と連携して野外活動の基本的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動指導者の育成を図りました。

【7 生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業 ：定款第4条第7号事業】

生涯学習施設を活用して、豊かな生涯学習社会を実現するため、幅広い年代の市民の高度で多様な学習要求や現代的課題（健康、環境、子育て、地域課題など）に対応した講座・セミナーを開催し、市民自らが主体的に関わることができる生涯学習活動の機会と場を提供しました。

（1）市民に生涯学習の機会を提供する事業

主な事業

○ 家庭教育講座、子ども・高齢者向け講座、

環境・防災・防犯講座、ボランティア養成講座等（交流館）

市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び活動できる機会を提供しました。地域活動の拠点、地域交流の場として、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮しあう場の提供をするとともに、人が輝き、環境にやさしく、躍進するまちを描きながら、「人づくり」、「地域づくり」、「生きがいつくり」、「地域活動の担い手づくり」を目的とした事業を実施しました。平成26年度は特に、子どもが地域活動へ参画する「担い手づくり事業」を各交流館で積極的に展開しました。また、ESDの視点を取り入れ、事業の展開を工夫することにより、事業内容の見直しを図りました。

また、財団のスケールメリットを活用し、各施設のノウハウを集約する中で自主事業として、産業文化センターと共催で「豊田市小中学生天文クイズ大会」、青少年センターと共催で「竜神☆キッズタウン」を開催しました。

（事業数456件）

【8 公益目的事業の推進に資する事業：定款第5条事業】

中学校区ごとに設置されている交流館の指定管理者である当財団が、同じく中学校区を単位として組織される地域住民の主体的運営によるコミュニティ会議の事務局業務を担い、地域コミュニティ会議運営に対する相談・助言など、地域社会の健全な発展に必要な支援を行いました。

（1）地域社会の健全な発展を促すため、地域コミュニティ会議に対する相談・助言、その他必要な支援を行う事業

主な事業

○ 地区コミュニティ会議事務局（交流館）

地域住民の住みよいまちづくりに向け、コミュニティ会議や地域で活動する団体等とコミュニケーションを図り、地域の活性化や課題解決に結びつける事業を展開しました。

（2）指定管理者として管理運営を受託した施設等を公益目的事業以外に貸与する事業

主な事業

○ 各指定管理施設の管理運営

関係法令・条例等を遵守しつつ、市民の利益を第一優先に考えた柔軟で弾力的な施設運営を推進しました。また、市民が安全で快適に利用できるよう、きめ細かな施設運営を推進するとともに、市民の立場に立ち、公平・公正な施設管理を推進しました。

（3）飲料水の販売に関する事業

主な事業

○ 自動販売機等による飲料水の販売

市民サービスの一環として、当財団が管理運営している市民文化会館、総合野外センター、産業文化センター、高橋運動広場、末野原運動広場、足助トレーニングセンター及び上郷公園において飲料水の販売を行いその収益を公益目的事業の財源等に充当しました。

【 9 会 議】

（１）評議員会

名 称	期日	会 場	内 容
6 月 定時評議員会	6 月 26 日	市民文化会館 会議室 A	議案第 1 号 平成 2 5 年度公益財団法人豊田市文化振興財団事業報告及び決算について 議案第 2 号 公益財団法人豊田市文化振興財団評議員の選任について 議案第 3 号 公益財団法人豊田市文化振興財団理事の選任について
3 月 臨時評議員会	3 月 26 日	決議の省略の方法による	議案第 4 号 公益財団法人豊田市文化振興財団評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規則の一部を改正する規則について

（２）理事会

名 称	期日	会 場	内 容
4 月 臨時理事会	4 月 11 日	決議の省略の方法による	議案第 1 号 平成 2 6 年度公益財団法人豊田市文化振興財団補正予算について
5 月 定時理事会	5 月 30 日	市民文化会館 会議室 A	議案第 2 号 平成 2 5 年度公益財団法人豊田市文化振興財団事業報告及び決算について 議案第 3 号 平成 2 6 年 6 月定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
1 1 月 定時理事会	11 月 27 日		議案第 4 号 公益財団法人豊田市文化振興財団特別任用職員就業規則の一部を改正する規則について 議案第 5 号 公益財団法人豊田市文化振興財団特別任用職員給与規則の一部を改正する規則について 議案第 6 号 平成 2 6 年度公益財団法人豊田市文化振興財団補正予算について
1 2 月 臨時理事会	12 月 25 日	決議の省略の方法による	議案第 7 号 公益財団法人豊田市文化振興財団給与規則の一部を改正する規則について

3 月 定時理事会	3 月 19 日	市民文化会館 会議室 A	議案第 9 号 公益財団法人豊田市文化振興財団組織規則の一部を改正する規則について 議案第 10 号 公益財団法人豊田市文化振興財団事務処理規則の一部を改正する規則について 議案第 11 号 公益財団法人豊田市文化振興財団評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規則の一部を改正する規則について 議案第 12 号 公益財団法人豊田市文化振興財団給与規則の一部を改正する規則について 議案第 13 号 公益財団法人豊田市文化振興財団再任用職員給与規則の一部を改正する規則について 議案第 14 号 公益財団法人豊田市文化振興財団特別任用職員給与規則の一部を改正する規則について 議案第 15 号 平成 26 年度公益財団法人豊田市文化振興財団補正予算について 議案第 16 号 平成 27 年度公益財団法人豊田市文化振興財団事業計画、収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第 17 号 平成 27 年度公益財団法人豊田市文化振興財団表彰について 議案第 18 号 総務部長及びこれに相当する職にある職員の任免について
--------------	----------	-----------------	--

(3) 監事会

名 称	期日	会 場	内 容
監 事 会	5 月 23 日	市民文化会館 会議室 A	平成 25 年度業務監査及び決算監査について

(4) 表彰委員会

名 称	期日	会 場	内 容
表彰審査会	3 月 13 日	市民文化会館 会議室 A	平成 27 年度文化表彰、青少年表彰及び特別表彰の審査について

(5) 文化振興委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第 1 回 文化振興委員会	5 月 20 日	市民文化会館 会議室 A	平成 2 5 年度事業報告について 平成 2 6 年度主要事業のモニタリング事業について
第 2 回 文化振興委員会	10 月 2 日		平成 2 6 年度上半期の事業実施状況について 平成 2 6 年度上半期のモニタリングの報告について 平成 2 7 年度事業計画案について
第 3 回 文化振興委員会	2 月 17 日		平成 2 6 年度下半期の事業報告について 平成 2 6 年度下半期のモニタリングの報告について 平成 2 7 年度事業計画について 他

(6) 青少年育成委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第 1 回 青少年育成委員会	6 月 14 日	青少年センター 集会室	平成 2 5 年度事業報告にいて 平成 2 6 年度事業計画について 平成 2 6 年度モニタリング事業について 他
第 2 回 青少年育成委員会	9 月 13 日	青少年センター 会議室	平成 2 6 年度モニタリング事業（前期）の評価報告に ついて 平成 2 6 年度モニタリング事業（後期）の評価確認に ついて 他
第 3 回 青少年育成委員会	2 月 7 日	産業文化センター 43 会議室	平成 2 6 年度モニタリング事業（後期）の評価報告に ついて 平成 2 7 年度事業計画について 他

(7) コンサートホール・能楽堂企画運営委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第 1 回 企画運営委員会	7 月 3 日	コンサートホール 多目的ルーム	平成 2 6 年度事業計画及び第 1 四半期事業報告について 平成 2 7 年度事業計画案について 他
第 2 回 企画運営委員会	9 月 22 日	コンサートホール 多目的ルーム	平成 2 6 年度第 2 四半期事業報告について 平成 2 7 年度事業計画案について 他
第 3 回 企画運営委員会	3 月 17 日	コンサートホール 多目的ルーム	平成 2 6 年度下半期事業報告について 平成 2 7 年度事業計画について 他

Ⅲ 平成26年度事業報告の附属明細書

1 文化事業課

文化活動のコーディネーターとして、豊田市の文化・芸術の特性や市民ニーズに合った文化事業を実施するとともに、行政や市民の方々との連携・協力により効果的な文化事業を展開しました。

■事業

平成26年度は、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業として、地域の方々と共働り、農村舞台と文化・芸術を活かした地域文化の創造により地域の活性化を図る「農村舞台アートプロジェクト2014」を実施しました。また、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業として、新たに音楽、演劇、美術などを加えた「文化活動者派遣事業」を実施しました。さらには、次世代の文化を担う子どもたちの育成として「とよたこども創造劇場」を、青少年音楽団体の育成事業として「豊田市少年少女合唱団」、「豊田市ジュニアマーチングバンド」の運営など幅広い文化事業を展開することにより、豊田市の文化振興に努めました。その他の事業においても、参加者の拡大や満足度の向上に向け事業内容の見直しを図りました。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
豊田芸術選奨受賞記念 加藤矢舟書作展	5月28日 ～6月1日	1,241人	博物館等の 展示	豊田芸術選奨受賞者の芸術について広く市民に鑑賞の機会を提供するため、展覧会を開催した。	自主
第14回とよたストーリー テリングフェスティバル	8月30日 ～ 9月7日	663人	自主公演	語りや音楽などで民族の誇りや伝承文化を伝えるストーリーテラーによる移動公演を開催した。	自主
とよたアートナウ2014	9月14日 ～21日	147人	博物館等の 展示	農村舞台を活用し、明川小学校の児童と共同して展覧会を開催した。(農村舞台アートプロジェクト2014と合同開催)	自主
豊田市民音楽祭2014	12月13日 ～14日	800人	自主公演	市民による参加型のジャンルを問わない音楽祭を開催した。	自主
第25回 歳末チャリティー作品展	12月5日 ～7日	648人	博物館等の 展示	文化団体の作品を廉価で頒布し、その収益を東日本大震災義援金として寄付した。	自主
第18回国際交流写真展	2月13日 ～15日	807人	博物館等の 展示	韓国仁川市の女性写真家グループととよたレディースフォトクラブによる草の根の国際交流写真展を開催した。	自主
第39回お茶と花と 文化講演の集い	1月31日 ～ 2月1日	3,848人	博物館等の 展示	文化講演、華道、茶道に親しむ機会を提供し、伝統文化の普及を図った。 (市民文化会館と連携)	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

映画塾	5月28日 ～ 3月25日 (2期: 全14回)	928人	自主公演	映画の鑑賞を通じて映画の素晴らしさを知り人生を豊かにするレクチャーを開催した。 (市民文化会館、視聴覚ライブラリーと連携)	自主
市民ギャラリー展	5月23日 ～25日 6月20日 ～23日	合同 633人 総合 506人	博物館等の 展示	文化団体による作品展示を奨励し、ギャラリーの活性化を図る作品展を開催した。	共催
とよたこども創造劇場	5～11月 公演 11月9日	公演 798人 受講生 延べ 2,450人	自主公演	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催した。	共催
こどもによる 日本の伝統芸能	7月25日	400人	自主公演	小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ子どもたちを集め発表会を行い、後世への伝統芸能の継承を図った。 (青少年センター事業、こども茶華道教室と同時開催)	共催
農村舞台 アートプロジェクト 2014	9月14日 ～ 3月15日	3,512人	博物館等の 展示	農村舞台を使いアート展、ライブを開催した。農村舞台の今後を考えるシンポジウムなどを内容としたフォーラムを開催した。(市民文化会館と連携)	共催
とよた市民芸能交流大会	10月19日	1,617人	自主公演	新市域の稲武地区で芸能交流大会を開催し地域文化の活性化を図った。(稲武交流館と連携)	共催
ジュニアプラス コンサート	11月3日	1,860人	自主公演	小学校金管バンドによる演奏会を開催した。	共催
吹奏楽フェスティバル 2014	11月8日	1,300人	自主公演	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高等学校吹奏楽の演奏会を開催した。	共催
野外箏曲演奏会	11月3日	0人	自主公演	会場が工事のため中止とした。	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
第53回 全日本かるた 選手権大会	4月 19・20日	146人	競技会	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会に発展した大会。全日本かるた協会と共催で開催した。	自主
民謡を唄う会	6月11日～ 11月5日 (全6回)	204人	講座、セミナー、育成	民謡の持つ明るさ、楽しさを知っていただく、楽しく分かりやすい講習会を開催した。	自主
音楽練習場運営事業	通 年	13,070人	講座、セミナー、育成	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行った。	自主
舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー	5～2月 公演 2月22日	公演 224人 受講生 延べ 1,022人	講座、セミナー育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成する講座を開催した。 (市民文化会館と連携)	共催

文化活動者派遣事業	6～3月	3,835人	体験活動等	青少年の育成と文化団体の社会貢献を目的に市内小中学校等へ文化活動者のワークショップを出前した。(市民文化会館と連携)	共催
第10回とよたふれあい将棋フェスティバル	6月21日	113人	競技会	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子のふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供した。	共催
第46回市民民踊講習会	6月15日	1,400人	講座、セミナー、育成	地域や職域で開催する盆踊り大会のため、新作等を取り入れた踊りの講習会を開催した。	共催
第14回夏休み子ども博覧会	7月30日～8月4日	5,014人	体験活動等	絵本の読み聞かせや展示、ワークショップによる手作りの子ども博覧会を開催した。	共催
秋季市民茶会	11月3日	899人	体験活動等	市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催した。	共催
新春芸術対談	1月10日	195人	講座、セミナー、育成	「オペラ」と「能」それぞれの専門家による対談形式の講演を開催した。	自主
第35回とよた囲碁まつり	2月15日	144人	競技会	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供した。	共催
こどものアート体験プログラム	7月13日～11月29日(全12回)	268人	体験活動等	ワークショップを開催し、子どもたちに文化・芸術体験の機会を提供した。	共催

【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
平成26年度財団大会	6月1日	366人	表彰、コンクール 財団の基本方針を内外に示すとともに、地域の文化振興や青少年健全育成に業績を挙げた功労者を表彰し称えた。	自主
第12回全国高校生付け句コンクール	7～9月	応募数8,448人	表彰、コンクール 全国の高校から付け句を募集しコンクールを開催した。	自主
市民参加事業	9～11月	31団体 28,694人	助成(応募型) 市内公募により参加を認定された市民団体の文化行事に助成を行った。	自主
市民俳句会秋季大会	11月3日	応募数129人 大会45人	表彰、コンクール 公募による俳句大会を開催した。	自主
市民短歌大会	11月3日	応募数114人 大会41人	表彰、コンクール 公募による短歌大会を開催した。	自主
とよた連句まつり	11月3日	43人	表彰、コンクール 市民参加による連句まつりを開催した。	自主

第26回とよた ビデオコンテスト	12月	応募数 49人 表彰式 48人	表彰、 コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を開催した。 (視聴覚ライブラリーと連携)	自主
文化団体活性化事業	通 年	3団体	助成 (応募型)	文化団体の活動を様々な角度からサポート。文化団体の自立と活性化を推進した。	自主
第22回とよたフォト ドキュメント2014	2月6日 ～8日	応募数 147人 来場 287人	表彰、 コンクール	豊田市内の出来事や市民の生活・風習を捉えた写真の公募展を開催した。	共催

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期 日	人数	内 容		事業区分
とよた定点観測	4月1日	-	調査、 資料収集	毎年4月1日を観測日に定め、豊田市の変遷を写真とビデオで記録した。(視聴覚ライブラリーと連携)	自主
文化情報誌 「カレント」発行	季 刊	各3,000 部	調査、 資料収集	市内で開催されるあらゆる文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報の提供を行った。	自主
CATV文化情報番組制作 「豊田文化アワー」	通 年	-	調査、 資料収集	地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作、ひまわりネットワークで放映し情報の提供を行った。	自主

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期 日	人数	内 容		事業区分
豊田市青少年 音楽活動実施事業 (少年少女合唱団運営)	通 年	団員数 127人	体験活動等	定期演奏会(1,000人)、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行った。	受託
豊田市青少年 音楽活動実施事業 (マーチングバンド 運営)	通 年	団員数 96人	体験活動等	定期演奏会(1,300人)、マーチング三河大会のほか、各種イベント出演などの活動を行った。	受託

2 市民文化会館

豊田市の文化・芸術の拠点施設として、文化・芸術の創造発信と賑わいを創出し、全ての市民が文化・芸術に親しむ機会を提供し、市民文化会館の存在感向上に努めました。また、市民による主体的な文化・芸術活動を支援するとともに、市民のニーズにきめ細かく対応できるよう、施設の管理・運営の工夫を進めました。

■事業

大・小ホールそれぞれの鑑賞空間を有効に活用し、音楽・古典芸能・演劇・講演など様々なジャンルの鑑賞事業を開催し、全ての市民が文化・芸術に親しむことのできる機会を提供しました。平成26年度は、市民に好評な事業は引き続き実施するとともに、新しい事業として「歌舞伎事業」、「避難訓練コンサート」、「舞台ウラ探検」にチャレンジしました。

■施設運営

職員個々の能力を高め、利用者に施設の効果的な利用方法を助言するなど内容の濃いサービスの提供、市民ニーズへのきめ細かな対応、そして、公平で公正な施設運営を目指しました。また、施設・設備等の点検を強化して、「安全」、「安心」、「快適」な施設を提供しました。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期 日	人数	内 容		事業区分
ディズニーライブ 「ミッキーのザ・マジックショー」	8月23日 8月24日	6,676人 5回公演	主催公演	ディズニーの人気キャラクターによる楽しいミュージカルを実施し、親子で舞台芸術に親しむ機会を提供した。	自主
歌舞伎事業 歌舞伎フォーラム公演 「応挙の幽霊」	9月27日	628人	主催公演	世界に誇る日本芸術の財産である歌舞伎を初めての方でも気軽に低料金で楽しんでもいただく機会を提供した。	自主
文化講演会 (第39回 お茶と花と文化講演の集い)	2月1日	414人	自主公演	「お茶と花と文化講演の集い」の文化講演会について、市民ニーズにあった講師を招き、様々な文化について考える機会を提供した。 (文化事業課と連携)	自主
避難訓練 コンサート	3月7日	350人	自主公演	お客様や演奏者との協力により、より実際に近い状況の中で避難訓練を行うことで、職員の危機対応能力及び市民の防災意識向上を図るためのコンサートを開催した。	自主
とよた寄席	1月23日	336人	主催公演	市民ニーズの高い噺家を招き、日本が誇る伝統芸能である落語を堪能する機会を提供した。	自主
舞台ウラ探検	12月27日 (2回) 3月19日	①4人 ②10人 ③7人	自主公演	文化施設に触れるきっかけづくり、また市民文化会館への親しみやすさをアピールした。	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業

映画塾	5月28日 ～ 3月25日 (2期: 全14回)	928人	自主公演	映画の鑑賞を通じて映画の素晴らしさを知り人生を豊かにした。(文化事業課、視聴覚ライブラリーと連携)	自主
農村舞台 アートプロジェクト2014	8～3月	2,591人	博物館等の展示	農村舞台を使いシンポジウム、フェスティバル、アート展、ライブを開催した。(文化事業課と連携)	共催
こころの劇場 劇団四季ミュージカル	7月31日	2,406人	主催公演	子どもたちが演劇を鑑賞し感動することで、「生きることの素晴らしさ」「人を思いやり、信じあう喜び」について学び、道徳・情操教育に寄与するとともに、優れた舞台芸術に触れる機会を通じて、子どもたちの豊かな感性の育成を図った。(豊田市、劇団四季との共催事業)	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー	5～2月	1,246人	講座、 セミナー、 育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成する講座を開催した。(文化事業課と連携)	共催
文化活動者派遣事業	6～3月	3,835人	体験活動等	文化活動者と市内の児童生徒が文化芸術と出会う機会を提供し、学校教育の総合学習に協力するとともに、文化芸術活動の普及に貢献した。(豊田市文化芸術振興計画に基づく新ジャンルのアウトリーチモデル事業の実施)(文化事業課と連携)	共催

利用実績

○市民文化会館

施設名	件数	人数	利用内容
大ホール	192	149,875	演奏会・講演会・研究大会等
小ホール	281	56,137	ピアノ発表会・講演会等
展示室A	149	32,246	絵画・彫塑・書道・花展等
展示室B	173	22,125	〃
リハーサル室・練習室	680	50,096	音楽・舞踊等各種リハーサル
会議室・和室	310	5,046	茶華道・会議等
計	1,785	315,525	

○市民ギャラリー

施設名	件数	人数	利用内容
展示室A・B・C	364	27,464	絵画・彫塑・書道・花展等

○総合計

総合計	2,149	342,989	
-----	-------	---------	--

3 視聴覚ライブラリー

地域文化に関する調査及び情報の収集を行うとともに、今までに情報収集した映像のデジタル化の選別作業を行い、映像教材として保存活用を図りました。また、映像媒体を有効活用するための各種講習会等を通じて、市民に視聴覚機器の普及を図るとともに、市民自らが取得した技術を活かしたボランティア活動により、調査及び情報の収集の発展につながるよう事業の展開を図りました。

■事業

継続的な文化の伝承を目的に、人物記のPRや、地域の伝統文化などの記録を収集しました。また、各種講習会などを通して視聴覚教材や機材への関心を高め、映像ボランティアの育成にも力を注ぎました。収集した映像情報は「視聴覚たより」、「視聴覚教育要覧」、「ホームページ」、「子ども映画会」などの活用により、市民を始め、学校教育現場、生涯学習分野（交流館・こども会等）へ広く発信することに努めました。特に「映画塾」・「ビデオコンテスト」・「定点観測」の事業では、文化事業課・市民文化会館と連携を図りながら事業を推進しました。

■施設運営

視聴覚教材、機材に精通するための職員研修をすすめ、利用者の支援などきめ細かな市民サービスに努めました。また、市民の文化活動を推進するため、利用者の皆様が快適で安全に利用していただけるよう常に良好な状態を維持するとともに、市民の皆様により親しまれるよう市民ニーズに沿ったサービスの提供と利用促進を目指しました。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期 日	内 容		事業区分
ロビー展示	通 年	博物館等の展示	利用者の活動内容を紹介し、作品等を展示した。	自主
映 画 塾	5月28日 ～ 3月25日 (2期: 全14回)	自主公演	映画のレクチャーを通じて人生の喜びや悲しみを知り、感動を得る教養講座を実施した。(928名参加) (文化事業課・市民文化会館との連携事業)	自主

【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期 日	内 容		事業区分
第26回とよたビデオコンテスト	12月	表彰、コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰式とビデオ入賞者作品の発表会を行なった。 (文化事業課との連携事業)	自主

※事業区分について: 自主—当財団独自の事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期 日	内 容		事業区分
とよたの人物記 アニメPR事業	8 月	調査、資料収集	とよたの人物記を広くPRするため、 人気アニメを同時上映する『子ども映画会』を実施し、参加者増を図った。 (105名参加)	受託
ビデオ講習会他 各種講習会事業	通 年	講座、セミナー、育成	視聴覚機器活用の裾野を広げるために、ビデオ講習会などを実施し、記録映像等の活用を促進した。	受託
視聴覚たより及び 視聴覚教育要覧	たより月1 要 覧年1	調査、資料収集	ライブラリー情報として、毎月発行のたよりと、前年度の記録を中心とした要覧を発行することにより、ライブラリー利用の促進をした。	受託
映像教材の収集、 保管と活用	通 年	調査、資料収集	地域の伝統文化や芸能、それを担った人たちなどの映像記録を収集するとともに、現在保有している教材等のデジタル化のための選別作業を行った。	受託
とよた定点観測	4 月	調査、資料収集	毎年4月1日を観測日に定め、豊田市の変遷を写真とビデオで記録した。 (文化事業課との連携事業)	自主

利用実績

施設名	件 数	人 数	利 用 内 容
編集スタジオ	721	870	CD コピー・16 ミリフィルム・VTR編集
教材・機材貸出	1,435	(1,435 本)	プロジェクター・16 ミリフィルム等貸出し
集会室・研修室 等	2,712	64,383	会議・研修会・講演会等
計	4,868	65,253	

4 コンサートホール・能楽堂

豊田市の音楽、伝統芸能の拠点施設として『本物の芸術・文化との出会い』、『伝統文化の継承』、『市民参加による芸術・文化の創造』を3本柱に、独自性のある魅力的な事業を展開し、音楽文化の向上と伝統文化の継承に努めました。

■事業

世界的な一流の公演と親しみやすい公演のバランスを重視しながら、独自性の高い事業企画を目指すとともに、音楽団体や保存会等との共働により、地域文化の創造につながる事業を展開しました。また、子どもから高齢者まで気軽にクラシック音楽や伝統芸能を楽しく体験できる事業を提供し、文化・芸術に興味を持つ市民層の拡大を図りました。

■施設運営

市民の文化活動の促進を図るため、利用手続や利用方法において利用者側の立場に立った助言・指導を行い、利用率向上を図るとともに、利用者に施設運営・設備に関するアンケートを実施し、意見・要望を把握、より使いやすい快適な施設運営に努めました。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
さつき能 事前講座	4月20日	26人	自主公演	講師／田崎未知（能楽研究家）	共催
さつき能	5月5日	317人		能「俊寛」／辰巳満次郎（宝生流）狂言「牛盗人」／井上松次郎（和泉流）を開催した。	
オペラ・コミック	5月10日	638人	自主公演	イタリア・オペラ集団《アマルコルド》による、オペラ歌手・アコーディオン・ピアノによる爆笑オペラショーを開催した。	共催
カザルス弦楽四重奏団	5月25日	463人	主催公演	チェロの巨匠カザルスの名を持ち、輝かしい国際コンクール受賞歴を誇るスペインの弦楽四重奏団のコンサートを開催した。	共催
能と吉野 事前講座	5月31日	92人	自主公演	講師／武田大志（観世流能楽師）	共催
能と吉野	6月29日	431人		朗読劇「額田王と吉野」主演：松坂慶子、講演：上野誠 能「二人静」／梅田嘉宏（観世流）を開催した。	
アルド・チッコリーニピアノ・リサイタル	6月15日	629人	主催公演	世界を代表するピアノの巨匠アルド・チッコリーニの88歳記念リサイタルを開催した。	共催
ザ・フィルハーモニクス	6月21日	729人	主催公演	ウィーン・フィルとベルリン・フィルの若手実力奏者7名による弦楽・クラリネット・ピアノのエンターテインメント性にあふれたアンサンブルの公演を開催した。	共催

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

ダニエル・ロート オルガン・リサイタル	7月6日	317人	自主公演	パリのサン＝シュルピス教会の 巨匠オルガニストによるパイプ オルガン・リサイタルを開催し た。	共催
世界音楽の旅 シリーズ アイリッシュ&ケルト 音楽	7月12日	559人	自主公演	世界中の本場の音楽をお届けす るシリーズ。今回は、アイルラ ンドからフィドル、ホイッスル、 ダンスも交えたモニハンブラザ ーズ&シスターズによるアイル ランド音楽の公演を開催した。	共催
おいでんまつり花火 とのコラボレ ーション企画「江戸落語 と花火の夕べ」	7月27日	262人	自主公演	落語「たがや」古今亭志ん輔、紙 切り林家正楽を楽しんだ後に、お いでん花火を桝席で鑑賞いただ く企画を開催した。	共催
夏休み親子で楽しむ わくわく能楽体験	8月17日	271人	自主公演	公演鑑賞とワークショップで能 楽に親しむ親子向けイベントを 開催した。	共催
ろうそく能 事前講座	8月9日	64人	自主公演	講師／羽多野良子 (金剛流能楽師)	共催
ろうそく能	9月6日	390人		能「葵上」／金剛永謹(金剛流) 狂言「狐塚 小唄入」／善竹忠 一郎(大蔵流)を開催した。	
日本の歌シリーズ 藍川由美の 「歌の寺子屋～ 和琴編～」in 能楽堂	9月13日	248人	自主公演	能楽堂で、日本最古の絃楽器「和 琴・倭琴」の伴奏による古代歌謡 を聴き、今様・民謡・わらべうた を一緒に歌う聴衆参加型公演を 開催した。	共催
豊田市民 クラシック コンサート	9月20日 ・21日	1,978人	自主公演	市内在住・在勤・在学・出身のク ラシック音楽演奏愛好家による コンサートを開催した。	共催
能楽堂で見る日本の 伝統芸能 シリーズ30 「神と人の芸能」	9月28日	197人	自主公演	「民謡」本條秀太郎、「藤守の田 遊び」焼津市、「越前万歳」越前 町、「伊勢大神楽」桑名市など各 地の郷土芸能を楽しむ公演を開 催した。	共催
藤原歌劇団 オペラ「愛の妙薬」	10月5日	459人	自主公演	日本を代表する歌劇団による名 作オペラ公演を開催した。	共催
ファジル・サイ ピアノ・リサイタル	10月13日	411人	主催公演	トルコの鬼才ピアニストによる ピアノ・リサイタルを開催した。	共催
カナディアン・ブラス	11月1日	622人	主催公演	40年の歴史を持つ世界一有名 な金管五重奏団によるパフォー マンス豊かなコンサートを開催 した。	共催
霜月能	11月2日	237人	自主公演	能「邯鄲」／梅若紀彰(観世流) 狂言／野村又三郎(和泉流)を開 催した。能ではイヤホンガイドも 実施した。	共催
マレイ・ペライア& セント・マーテン・ アカデミー管弦楽団	11月15日	740人	主催公演	ピアノの巨匠マレイ・ペライア率 いる、英国の精鋭メンバーによる 名門オーケストラの12年ぶり の来日コンサートを開催した。	共催
市民演能会	11月22日 ・23日	101人 43人	自主公演	能楽愛好家の方々に発表の場を 提供する市民参加型事業を開催 した。	共催

能楽堂で見る日本の 伝統芸能 シリーズ31 「知っておきたい日本 の三大物語」	10月26日	355人	自主公演	絵解き「刈萱道心石堂丸御親子御 絵伝」長野県西光寺、講談「安寿 と厨子王」神田香織、「人形浄瑠 璃」傾城阿波鳴門など親子の絆の 物語の公演を開催した。	共催
小曽根真 ピアノ・リサイタル	12月6日	910人	主催公演	ジャズピアノの名手小曽根真の ピアノ・リサイタルを開催した。	共催
狂言づくし	12月13日	367人	自主公演	野村万蔵家による狂言3演目「水 掛簀」、「無布施経」、「止動方角」 を開催した。	共催
コンサートホール・ フェスティバル	12月21日	843人	自主公演	コンサートホール全館を公開し て、ワークショップ、楽器体験、 演奏会を開催した。	共催
ウィーン・シュトラウ ス・フェスティバル ・オーケストラ ニューイヤー・ コンサート	1月10日	820人	主催公演	大人気ペーター・グート率いるウ ィーンのオーケストラによる、サ ービス精神溢れるニューイヤー・ コンサートを開催した。	共催
新春能	1月12日	361人	自主公演	能「西行桜」／本田光洋（金春流） 狂言「仏師」／茂山千三郎（大蔵 流）を開催した。能ではイヤホン ガイドも実施した。	共催
ウィーン&ベルリン リサイタル・シリーズ	1月11日 18日	937人 630人	自主公演	①ベルリン・フィルコンサートマ スターの榎本大進によるリサイ タル ②ウィーン・フィルコンサートマ スターのR. ホーネックによる リサイタルを開催した。	共催
名古屋フィルハーモニ ー交響楽団豊田市 コンサートホール シリーズVOL.2	2月14日	806人	主催公演	名フィルが豊田市コンサートホ ールを会場にして行う豊田演奏 会を開催した。名フィルとの共 催。	共催
フィンランドディア 男声合唱団	3月8日	675人	主催公演	北欧の合唱王国フィンランドの 男声合唱団によるコンサートを 開催した。	共催
特別公演 事前講座	3月15日	349人	自主公演	講師／西野春雄 (法政大学名誉教授)	共催
特別公演				能「復曲能・吉野琴」／片山九郎 右衛門（観世流）、狂言「佐渡狐」 ／山本則俊（大蔵流）を開催した。	
徳岡めぐみ オルガンコンサート	3月21日	255人	自主公演	コンサートホール・オルガニスト 徳岡めぐみによる企画・構成・演 奏のコンサートを開催した。	共催
とよた フレッシュ コンサート	3月14日	264人	自主公演	平成24～26年に音楽専攻の 大学を卒業した新人演奏家によ るコンサートを開催した。	共催
ロビーコンサート	通 年	3,374人	自主公演	市内各地で市民演奏家によるコ ンサートを開催した。（参加館ロ ビー、市役所ロビー、出前コン サート等）	共催
かーるくラシック イブニング コンサート	5月21日 7月29日 9月3日 10月9日 11月19日 2月4日	385人 412人 268人 601人 493人 426人	自主公演	クラシックの名曲を気軽に親し む60分のイブニング・コンサ ートを開催した。	共催

お昼のパイプ オルガン コンサート	5月16日 7月31日 11月26日 1月30日 12月14日	362人 599人 350人 389人 551人	自主公演	気軽にパイプオルガンの魅力に親しんでもらう60分のランチタイム・コンサートを開催した。4回はパイプオルガン、1回はチェンバロのスペシャルコンサート。	共催
アウトリーチ	年15回程度	1,548人	自主公演	招聘アーティストを市内の小中学校などへ派遣し、児童・生徒との交流や演奏、指導などを行った。	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
オルガン演奏 体験講座	8月26日 27日	18人	体験活動等 コンサートホールのジョン・ブランボー社製オルガンを実際に演奏することのできる体験講座を開催した。	共催
能楽入門講座	2月24日 3月3日・ 10日・17日・ 22日	155人	体験活動等 狂言、お囃子、謡、仕舞などの体験・習得講座を開催した。	共催
歌の昭和史 ～みんなで歌おう 懐かしい歌を～	6月19日 6月26日 7月2日 7月10日	149人 134人 120人 60人	講座、 セミナー、 育成 学校唱歌・童謡・叙情歌など、懐かしい歌のオリジナルを聴き、一緒に歌う聴衆参加型講座を開催した。	共催
能狂言が見たくなる 講座	7月19日 8月30日 10月12日 12月7日	75人 80人 46人 103人	講座、 セミナー、 育成 様々な視点から能・狂言の魅力に迫る講座を開催した。	共催
パイプオルガンを 楽しむための講座	6月18日 10月15日 2月26日	122人 139人 113人	講座、 セミナー、 育成 オルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうための映像と演奏を交えた講座を開催した。	共催
ふらっと能楽堂	5月18日 10月4日 3月8日	39人 87人 86人	講座、 セミナー、 育成 気軽に能楽・伝統芸能に親しむための初級者講座を開催した。	共催

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
豊田市青少年 音楽活動実施事業（ジュニアオーケストラ運営）	通 年	団員 56人	体験活動等 年2回の定期演奏会（855人、764人）のほか、地域への訪問演奏などの活動を行った。	受託

利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
コンサートホール	202	62,607	コンサート等
能楽堂	71	14,151	能・狂言・その他邦楽等
多目的ルーム	88	6,537	講座・講演・ピアノ発表会等
リハーサル室・板の間	340	6,648	音楽・能・謡曲等のリハーサル
計	701	89,943	

5 青少年センター

青少年健全育成の拠点施設として、青少年の育成支援・社会参加活動を支援しました。また、ひきこもりや未婚・晩婚化など青少年課題に対応する事業を推進しました。さらに、大学生を含めた青年スタッフの活用、青少年団体・青年サークルとの連携協力体制を確立し、共働による事業を展開するとともに、「豊田市子ども会育成連絡協議会」、「豊田市青少年団体傷害互助会」の事務局機能の強化維持を図りました。

■事業

青少年の育成支援として、未婚・晩婚化やひきこもりなどの課題に対応する自立支援事業を推進し、同時に青少年の居場所づくりを展開しました。さらに青少年の自発的な社会参加を支援する青少年指導者養成事業、そして地域と青少年をつなぐ「むすぶネット」事業を展開しました。また、青少年団体の振興・発展に資するサークル団体支援事業として子ども会事務支援、活動の安全意識向上と傷害見舞金給付のための青少年団体傷害互助会やサークル育成事業など、事業の充実を図りました。

■施設運営

改善制度への全員参加、危機管理マニュアルに基づいた各種訓練の実施、利用者懇談会・利用者アンケートの実施など、市民の安全・安心・快適な利用のために、効率的な管理運営と市民サービス向上に努めました。また、メール配信登録者への情報提供、ホームページの充実や利用相談窓口の整備など、情報発信機能の向上を図るとともに、職員の専門知識・能力向上のため専門研修への参加や職場研修を推進しました。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
ジュニア文化講座	6月～1月 6回	18人 延 158人	講座、セミナー、 育成	小・中学生が茶華道の体験学習を通して伝統文化に親しみ、マナーと礼儀を身につける機会を提供した。(一部文化事業課と連携)	自主
出合いの料理教室	6月～9月 11月～2月 2期各5回	①期 男 13人 女 12人 延 93人 ②期 男 12人 女 13人 延 90人	講座、セミナー、 育成	男女が共同で取り組む料理を通して出合いの場を提供した。	共催
アウトドア講座	6月～2月 9回	19人 延 155人	講座、セミナー、 育成	野外活動やスポーツの体験学習を通して、青年リーダーの育成と仲間づくりを図った。	共催

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

出会いのイベント	6月 3回	男 15 人 女 15 人 延 87 人	体験活動等	交流館との連携により、ものづくりを通して結婚を真剣に考える若者に出会いの場を提供した。	共催
大学生支援講座	11月 2回	① 7 人 ② 7 人	体験活動等	将来の生活環境に関わる課題に大学生が取り組み、活動を支援した。	共催
インターンシップ事業	8月	4人	体験活動等	近隣の大学との連携により、学生の社会教育学習のサポートを行った。	共催
レクリエーション 指導者養成講座	7月～1月 4回	① 33 人 ② 15 人 ③ 20 人 ④ 30 人	講座、セミナー、 育成	レクリエーション団体との共働により、子ども会や自治区などの催事におけるレクリエーションリーダーを養成した。	共催
ダンス教室	9月～11月 6回	7人 延 42 人	講座、セミナー、 育成	青少年サークルとの連携により、青年のニーズに応えたダンスの講座を開設し、サークル育成を図った。	共催
センスアップセミナー	11月 1回	男 12 人 女 6 人	講座、セミナー、 育成	エチケットやメイクの基本などを学び、社会人としての基本的なマナーを習得した。	共催
クリスマスパーティー	12月	男 90 人 女 77 人	体験活動等	クリスマスの季節を活かし、結婚を真剣に考える若者に出会いの場を提供した。(青年による企画運営)	共催
新春出会いのイベント	1月	男 16 人 女 23 人	体験活動等	青年が企画し、新春の季節における男女の出会いの場を提供した。	共催
ミニパーティー	8月	男 42 人 女 26 人	体験活動等	結婚を真剣に考える若者に気軽に参加できる出会いの場を提供した。	共催
高校生ボランティア スクール	5月～3月 各コース 13回	福祉 33 人 保育 56 人 レクリエーション 25 人 ものづくり 23 人 計 137 人	講座、セミナー、 育成	様々なボランティア活動や地域、社会参加を体験し、人とのふれあい・語らいを通して、自立心と思いやりをもった青少年を育成した。 保育コース・福祉コース・レクコース・ものづくりコース (総合野外センター、産業文化センターと連携)	受託
中学生ボランティア 体験教室	10月～11月 3回	① 20 人 ② 32 人 ③ 56 人	体験活動等	様々な分野のボランティア活動の基礎知識を学ぶとともに、体験学習する機会を設けることにより、ボランティア活動に対する芽を育んだ。	受託
自立支援者養成講座	1月～2月 2回	① 22 人 ② 26 人	講座、セミナー、 育成	社会生活に不安を持つ若者の支援者を養成した。	受託
自立支援講座	11月 2回	① 13 人 ② 35 人	講座、セミナー、 育成	社会生活に不安を持つ若者に対して自立を支援する学習の機会を提供した。	受託
フリーサロン	通 年	延 167 人	体験活動等	学生による小・中学生の学習支援をし、青少年がくつろげる若者サロンをつくった。	受託
卓球・インターネット等 開放事業	通 年	延 21,920 人	体験活動等	施設の空き時間を活用した卓球の開放及びロボットのインターネットの開放をした。	受託

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
豊田市青少年団体 傷害互助会事業	通 年	622 団体 35,726 人	その他	青少年団体活動の安全確保と事故防止のため、安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対して見舞金等の給付を行い、青少年団体の支援をした。	自主
平成26年度 財団青少年表彰	6 月	功労賞3人 奨励賞2人	その他	青少年健全育成に優れた業績を挙げた団体、功労者を称えた。	自主
ユースサポーター クラブ	9～12 月	8 回 延 205 人	その他	青年が社会的に自立した市民になるための支援者を養成した。	自主
青少年団体キャンプ 看護師派遣	通 年	5 回 414 人	その他	総合野外センターとの連携により、加入青少年団体宿泊キャンプ活動の安全を図った。 (看護師派遣)	自主
うめつぼちびっこ 合唱団支援	通 年	-	その他	梅坪台交流館との共働により、小学校低学年を対象とした合唱団を支援した。	自主
サークル広報事業	年2回	2回発行	その他	青少年センターを拠点にして活動するサークル・団体のための広報誌を発行した。	共催
青少年団体共働事業 「とよたキッズタウン」	11 月・3 月	①641 人 ②378 人	その他	青少年サークルや青少年団体との共働により、子ども対象とした交流事業を企画・実施し、青少年団体間の相互協力体制を強化した。	共催
自立支援相談会	4～3 月 毎月3回	36 回 134 組 250 人	相談・助言	社会生活に不安を持つ若者に対して心理カウンセラーによる自立支援の相談を行った。	受託
レクリエーション団体 指導者派遣	通 年	派遣5 団体 109 件	相談・助言	レクリエーション団体代表者の会議を開催して情報交換を行うとともに、子ども会などへレクリエーション指導者を派遣し、活動支援を行った。	受託
青少年サークル派遣	通 年	4 回 36 人	相談・助言	さまざまな特技を持つ登録青少年サークルを地域活動等に派遣し、青少年の社会参加・活動支援を行った。	受託
子ども会事務支援	通 年	—	相談・助言	豊田市子ども会育成連絡協議会の会計事務を中心とした事務支援を行い、市子連の活動を推進した。	受託

利用実績

○青年センター（１Ｆ）

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
集会室・音楽室・軽運動室 等	3,125	28,077	会議・バンド練習・卓球・ダンス 等

○勤労青少年ホーム（２Ｆ）

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
大会議室・視聴覚室 等	2,259	28,373	会議・研修会・映画会・茶華道 等

○その他

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
団体室・ロビー 等	588	33,087	登録団体作業・会議・たまり場 等

○総合計

総 合 計	5,972	89,537	
-------	-------	--------	--

6 総合野外センター

野外活動の拠点施設として、こども園、幼稚園、小学校、中学校のほか、子ども会などの青少年団体の野外体験学習の受入れや活動指導を通して青少年の健全育成を図りました。また、施設を利用する団体に「豊かな自然がある」、「宿泊できる」などの施設の特色を活かした魅力ある活動プログラムが提供できるよう、学校と連携した「絆づくりプログラム」や自然環境を活かした活動プログラムの開発、星空観察やナイトハイキング、キャンプファイヤーなどの夜間活動プログラムの充実にも努めました。

■事業

子どもの「生きる力」を高めるための事業を積極的に行いました。小学校・中学校の宿泊学習では、事前打合せに基づく直接指導を通して目的の達成を支援しました。また、「チャレンジキャンプ」、「山の子学級」、「六所のつどい」では、参加した子どもたちが、学校の宿泊活動以上に自然のすばらしさを感じ、思いやりの心や協力性を身につける体験ができるプログラムを企画・実施しました。「親子deキャンプ」や「ファミリーキャンプ」では、野外活動を通して親子の触れ合いや家族間交流のできる場を提供しました。

■施設運営

学校以外の青少年団体の利用を促進するため、利用希望団体が多い夏休み期間中の月曜日を開館し、利用受入枠の増加に努めました。また施設面においては、利用者の目線で施設、設備の点検を実施し、利用者が安全に施設を利用できるように努めました。あわせて、施設の営繕や自然環境の保全作業についての自主管理能力を向上させ、経費の縮減を積極的に図りました。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期 日		内 容		事業区分
六所 星空ウォッチング	年 3 回	13 家族 49 人	体験活動等	空気が澄む秋・冬期を中心に天体観測と解説を行った。	自主
アウトリーチ事業 応援アウトドア	年 3 回	3 回 137 人	体験活動等	他施設主催講座への企画協力や職員の講師派遣を通してミニ野外活動体験会等の活動支援を行った。	自主
ファミリーキャンプ	5 月～3 月 年 8 回	136 家族 702 人	体験活動等	家族に施設を開放し、自主的な野外活動を通じて自然に親しみ家族の触れ合いを深める場を提供した。冬季には地元講師を招いて、そば作り、和紙工作等を実施した。	自主
チャレンジキャンプ	8 月	36 人	体験活動等	普段の生活から離れた 4 泊 5 日の長期キャンププログラム(シャワークライミング、ハイキング、クラフト等)を提供し、直面する様々な課題を仲間とともに解決し、社会性や豊かな人間性を育ぶ機会を提供した。また、学校利用での長期キャンプ実施を視野に、継続的な資料蓄積を図った。	共催

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業

六所のつどい	9月 13日～14日	19人	体験活動等	活動時期に応じた自然体験、野外活動体験、クラフト活動を企画し、自然の素晴らしさ、大切さを知るとともに、集団活動の中で仲間作りや協力することの意義を学ぶ機会を提供した。	共催
	12月 20日～21日	31人			
	2月 7日～8日	34人			
山の子学級	6月～11月 年5回	48人	体験活動等	同じ仲間とともに協力して活動することで、人間的な関わりを深めながら、自然の豊かさや大切さを学ぶことを目的とした野外活動プログラムを提供した。春から秋の半年間で実施した。	共催
キャンプスタッフ トレーニングキャンプ	5月 24日～25日	41人	講座、セミナー、育成	総合野外センターのキャンプスタッフとして活動をする人を対象に、野外活動の基礎的な知識やプログラム（野外炊事、クラフト、もちつき等）を実践から学び、意欲的なスタッフの養成を図った。	共催
	6月 21日～22日	40人			
	10月26日	30人			
キャンプインストラクター 養成講習会	3月	26人	講座、セミナー、育成	日本キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動を支援する指導者を養成した。（キャンプ協会公認インストラクター資格試験受講対象）	共催
親子deキャンプ	年4回	27家族 89人	体験活動等	野外活動の楽しさを体験しながら野外活動への興味を深め、親子の触れ合いや参加した家族間の交流を図るプログラムを提供した。 ※9月はキャンプ場、その他の時期は自然の家宿泊で開催した。	共催

利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
少年自然の家	227	26,855	宿泊研修等
青少年キャンプ場	505	39,256	野外活動等
運動広場	25	6,419	軽スポーツ等
資料館	19	1,342	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	95	10,465	軽スポーツ・雨天時等の活動等
研修室	51	3,339	軽スポーツ・雨天時等の活動等
計	922	87,676	

7 産業文化センター

市民の文化活動や民間企業の団体活動など多様な利用者ニーズに対応し、複合施設としての特色を活かし、きめ細かな施設運営を図ることができました。また「とよた科学体験館」は、市内唯一の科学教育の拠点施設として、幅広い年齢層の市民が気軽に科学に触れられる生涯学習の機会の拡充に努め、更に青少年の科学に対する好奇心が深められるよう、専門性を活かした事業を積極的に開催しました。

■事業

サイエンス事業では、小学5・6年生を対象とした「サイエンスクラブ（中級）」の実施により、従来の「サイエンスクラブ（小学3・4年生対象）」と合わせ、学年に応じた事業の体系化を図りました。「サイエンススクール」は今年度、3校が新たに加わり、市内の中学・高校6校の科学部の成果発表の場として定着し、科学工作ブースの出展も加わり盛大なイベントとして開催できました。

プラネタリウム事業では、新規事業として、好評の「星空散歩ライブ」やプラネタリウムの利用層を拡大するため「子育て支援投映」、「国際交流投映」を行いました。財団独自の取り組みである自主事業の「小中学生天文クイズ」では、優勝者に小惑星の命名権が与えられるという、話題性のあるイベントになりました。また地区予選を交流館で開催したり、学校を通じた事業PRを行うことにより、地域の学校、交流館との連携を図ることができました。

■施設運営

管理と事業の一体的運営を目指し、施設の機能を最大限に発揮するとともに、ソフト事業の専門的な知識や経験を活かし、民間や行政では実施することが難しい財団独自の事業を展開しました。また、CSアンケートなどから利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応を心がけることにより利用者満足度（CS）の向上を図ることができました。経費の縮減と安全管理に対しては、職員一人ひとりが経営感覚を持って取り組み、市民から信頼される施設運営を行いました。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
小中学生天文クイズ	予選5地区 決勝 8/30	決勝 200人	体験活動等	予選を地区（各交流館）、決勝を体験館で行う天文クイズ大会を開催した。（交流館と連携）	自主
ミニワークショップ	毎週土・日 祝日 夏冬春休み	20,109人	体験活動等	短時間でできる簡単な工作教室を実施した。	自主
星を見る会	5月17日	100人	体験活動等	プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、総合野外センターで本物の星空を観察する会を実施した。 （総合野外センターと連携）	自主
	9月13日	107人			
	11月15日	44人			
	3月21日	45人			

※事業区分について：自主＝当財団独自の事業、受託＝豊田市から委託を受けて実施する事業

アストロクラブ 親子天体観測会	8月17日 1月10日	102人 42人	体験活動等	アストロクラブの会員家族を対象に野外活動と天体望遠鏡での観望会を開催した。	自主
高校生ボランティア ものづくりコース	通年	146人	講座、セミナー、 育成	ミニワークショップの指導材料の準備体験を行った。 (参加人数は体験館での活動人数。高校生ボランティア実人数は23人)	自主
ものづくり フェスタ 2014	10月5日	197人	体験活動等	ものづくりフェスタ実行委員会主催のイベントに実行委員を派遣・出展協力した。	自主
親子 ものづくり講座	通年	137人	体験活動等	ものづくりサポートセンター主催の講座に対し、申込み受付、会場の提供等の事業協力をした。	自主
コラボ事業	年8回	728人	体験活動等	相撲甚句、ポジャギ(韓国パッチワーク)の展示等を各団体と協力して行った。	自主
星空散歩ライブ	年4回	605人	体験活動等	地元の演奏家、演劇集団などとのコラボレーションで、音楽、演劇と映像と生解説の融合したオリジナル番組を放映した。	受託
プラネタリウム 発表会	発表会 1月10日	49人	体験活動等	アストロクラブ(中級)参加者より希望者を募り、全クラブ員と保護者を対象に、プラネタリウムで天文のプレゼンテーションとワークショップを冬季の親子観測会の昼間活動として実施した。	受託
子育て支援放映	4月9日	381人	体験活動等	「ママとキッズのはじめてのプラネタリウム」と題して、暗さ・時間・内容を考慮した赤ちゃん連れで観賞できる放映を実施した。	受託
	4月10日	413人			
国際交流放映 「英語DE プラネタリウム」	7月13日	69人	体験活動等	英語による星空解説と最新鋭のデジタル映像による宇宙空間などのCG映像により、外国人向けの放映を実施した。	受託
	1月17日	59人			
プラネタリウム投 映事業	通 年	40,133人	体験活動等	とよた科学体験館の一般向け・子ども向け番組の放映、関連イベント開催による利用促進を行った。	受託
		5,667人		市内のこども園年長児用の幼児番組と小学4年生向け学習番組を放映した。(学習放映)	受託
星空散歩	1回/週	2,685人	体験活動等	オリジナル番組として制作し、生解説で放映を行った。	受託
星空クルーズ and 天体観望会	2回/月 程度	453人	体験活動等	オリジナル番組として制作し、生解説と天体望遠鏡による観望会を行った。	受託

プラネタリウム コンサート	11月11日	248人	体験活動等	プラネタリウムの星空のもと、 星座解説やプロの二胡奏者による 生演奏のコンサートを実施した。 (1日2回公演)	受託
アストロクラブ				子どもたちを対象にした天文 教室。星の見つけ方や観測の方法 などを学んだ。	受託
初級 コース	年6回	60人 延べ360人	講座、セミナー、 育成	天文の基礎知識や星座の見つけ 方などを学んだ。	受託
中級 コース	年6回	21人 延べ126人	講座、セミナー、 育成	望遠鏡の操作や活用の仕方を 学んだ。	受託
天文セミナー	9月20日	86人	体験活動等	天文や宇宙開発に関する専門 家を講師に招いて講演を実施 した。 講師：田邊優貴子氏 縣 秀彦氏	受託
	3月14日	144人			
親子天文教室	8月2日	51人	体験活動等	親子を対象に季節の星空や宇宙 の話題をわかりやすく紹介 する教室を開催した。 講師：浅田英夫氏	受託
	10月4日	98人			
出前天体観測会	年10回	549人	体験活動等	学校等に指導者を派遣し、持参 した望遠鏡による天体観測会 を実施した。	受託
宇宙絵画展	6月18日 ～ 2月8日	3,469人	体験活動等	園児が描いた宇宙・月・星座な どの絵を募集し展示した。	受託
サイエンス スクール	学習会 10月13日 発表会 12月14日	291人	体験活動等	市内の中学・高校の科学部に呼 びかけ、6校の科学部がサイエ ンスショーに取り組み、学習会 やサイエンスショーの発表会 を行った。	受託
サイエンスショー	毎週 土・日 祝日	18,729人	体験活動等	科学の原理を実験によって紹 介する実験ショーを実施した。 また、外部講師によるスペシ ャルサイエンスショーを年3回 開催した。	受託
	通年	8,736人	体験活動等	市内のこども園、幼稚園、保育 園、小学校の学習利用向けや一 般団体向けにサイエンスショ ーを実施した。	受託
ワークショップ (初級・中級)	年15回	758人	体験活動等	難易度に応じて「初級」・「中級」 に分類し、1時間半から2時間 で科学やものづくりの楽しさを 体験できる実験・工作教室を 実施した。	受託
サイエンスクラブ 初級コース	年6回	33人 延べ198人	講座、セミナー、 育成	小学3・4年生向けに、年間を 通して、科学全般に関する科学 実験を中心とした講座を行っ た。	受託
サイエンスクラブ 中級コース	年6回	24人 延べ144人	講座、セミナー、 育成	小学5・6年生向けに、年間を 通して、科学全般に関する科学 実験を中心とした講座を行っ た。	受託

出前科学講座	7月31日	9人	体験活動等	朝日丘交流館に出向き、科学的原理に基づく科学工作講座を行った。	受託
サイエンステラス	年6回	536人	講座、セミナー、育成	大学等の教育機関と連携し、学生との交流や気軽に科学に触れるブースを開設した。	受託
事業支援者育成事業	通年	登録者32人	講座、セミナー、育成	天文分野、サイエンス・ものづくり分野の事業支援者の育成とサイエンスホール展示品の制作、活用を図った。	受託
指導者セミナー	5月5日	24人	講座、セミナー、育成	理科教員等を対象にサイエンスショー、ワークショップの外部講師によるセミナーを実施した。	受託
	2月11日	17人			
夏休み自由研究相談会	8月2日 8月3日	664人	体験活動等	夏休みの小・中学生の自由研究に関する展示と分野ごとに相談会を実施し、「科学する心」を育てる機会を提供した。 (土日開催)	受託
ものづくりひろば	毎週土・日	5,049人	体験活動等	土・日曜日に、幼児から小学生の親子がものづくりの楽しさを体験する機会を提供した。	受託
喜楽亭茶会	年5回	542人	体験活動等	茶友会や工芸協会と連携をとりながら、季節ごとに特色ある茶会を開催し、喜楽亭の利用促進を図った。	受託

利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
小ホール	260	33,348	講演会・発表会等
多目的ホール	356	40,855	展示会・研修会・パーティー等
大広間	43	1,756	展示会・研修会等
視聴覚室・応接室・会議室等	1,362	23,286	会議・研修会・打合せ等
プラネタリウム	838	52,036	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	313	164,941	学習見学・一般見学等
喜楽亭	309	11,413	茶会等
その他	5,273	166,238	中日文化センター等
計	8,754	493,873	

※4階の大広間、視聴覚室・応接室・会議室は4月1日～7月31日までの利用件数、利用人数

8 交流館

各交流館では、「地域課題の対応支援」、「地域住民の参画」を重要な視点として各地域の特色を活かした運営を目指すと同時に地域活動・課題の解決支援のための相談事業にも力を注ぎました。交流館の取り組みについては、交流館報・ホームページ・広報とよた・豊田市交流館情報誌「まなびん」などを活用した情報発信や報道機関への積極的な情報提供を行い、効果的なPRに努めました。

■事業

各交流館では、市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び活動できる機会を提供しました。また、地域活動の拠点、地域交流の場として、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮しあう場も提供しました。人が輝き、環境にやさしく、躍進するまちを描きながら、「人づくり」、「地域づくり」、「生きがいつくり」、「地域活動の担い手づくり」に関する事業を展開しました。

■施設運営

地域住民に愛され、生涯学習活動や地域課題解決の拠点施設となるよう、子どもからお年寄りまで訪れる利用者の方々が何を求めているかを把握し、職員全員で顧客満足の上昇に努めました。また、防火管理者や普通救命講習など業務に必要な専門的研修を実施することで、職員の資質向上を図りました。

事業一覧

【生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業】

○事業内容の区分：講座、セミナー、育成 相談、助言

事業区分：自主

交流館名等	事業名	期 日	人 数	内 容
予選 5 交流館 決勝 とよた科学体験館 プラネタリウム	豊田市小中学生 天文クイズ大会	予選 6 月 決勝 8 月 30 日	延べ 639 人	産業文化センター（とよた科学体験館）との連携により、予選は美里・朝日丘・小原・保見・上郷の各交流館を、決勝はとよた科学体験館プラネタリウムを会場として、小・中学生を対象とした天文クイズ大会を開催した。 （産業文化センターと共催）
竜神	竜神☆キッズタウン	3 月 7 日	378 人	財団のスケールメリットを活かすとともに、コミュニティ会議などの地域の団体と共働で小・中学生対象のキッズタウンを開催した。 （青少年センターと共催）

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

事業区分：受託

交流館名	事業名	期 日	内 容
逢妻	逢妻女川探検隊☆生き物調査をしよう！	6月14日	小学生親子が、地域の川の生き物捕獲と観察を通して、川環境を学ぶ講座を実施した。
	夏休み子どもチャレンジ2014	7月23日 ほか	小学生が、自主グループの活動を体験しながら、異世代交流を図る講座を実施した。
	にこにこベビー	10月22日 ほか	3～7カ月児の親子が、授乳やあかちゃんの成長と発達等について学ぶ講座を実施した。
	大人チャレンジ2 本格キムチに挑戦！	12月16日	韓国語講師から保存食づくり(キムチ)を学びながら、交流する講座を実施した。
	その他 11 事業／総計 15 事業／参加 877 人		
旭	あひる学級 2014	5月15日 ほか	未就園児親子が安心して集まって仲間作りができ、情報交換・交流する場を提供する講座を実施した。
	今どき農スタイル おしゃれもんづくり	6月14日 ほか	多世代・多地域間交流をしながら、古き良きものの再発見をする講座を実施した。
	サンライズコンサート 2014	9月20日	地域住民が素晴らしい音楽を体験でき、演奏者・中学生・参加者の交流の場を提供する講座を実施した。
	おやまの自然工房	12月23日	竹を使ったお正月飾りづくりを通して、地域のよさ、自然物の有効活用について学ぶ講座を実施した。
	その他 5 事業／総計 9 事業／参加 358 人		
朝日丘	地域のたまり場づくり ひだまりサロン	4月1日 ほか	気軽に集い憩う場を設け、世代を越えた交流を図り、イベントなども行う講座を実施した。
	すくすく赤ちゃん あひる組	4月17日 ほか	3～6カ月の親子を対象に、親子のふれあいや離乳食について学び、仲間づくりを行う講座を実施した。
	歴史の香る散歩みち	5月4日 ほか	自治区の散歩コースを歩き、周辺の歴史を知り興味や関心を高める講座を実施した。
	親子でいっしょに 作っちゃおう！	7月21日 ほか	地域の方が講師となり、親子の絆を深め、ものづくりの楽しさを知る講座を実施した。
	その他 8 事業／総計 12 事業／参加 3,813 人		
足助	あすけの町並み塾	5月ほか	足助に関わる人物、史跡、祭りなどにスポットをあて、より深く学ぶ歴史・体験学習講座を実施した。
	エコライフ講座	7月25日	企業における環境に対する取り組みについて楽しく学ぶ講座を実施した。
	防災講演会	1月30日	地域住民の防災意識を高め、安全・安心な地域づくりについて学ぶ講座を実施した。
	中馬のおひなさんを 体験しよう！	2月～3月	まちづくりの担い手となる子どもたちが「中馬のおひなさん」に参加し、郷土を知る講座を実施した。
	その他 10 事業／総計 14 事業／参加 882 人		
井郷	夏のウキウキ体験デー ～自主グループ体験～	7月25日 ほか	自主グループの活性化を図り、地域のグループを知る講座を実施した。
	地域課題解決講座 井郷サマーフェスタ	7月12日	身近な環境課題を地域住民と共に考え、環境意識を高める講座を実施した。
	わくわくクッキング	6月14日 ほか	26年度の食育講座を発展させ、食を通して人に喜んでもらい、ふれあい祭で交流を図る講座を実施した。
	自作スピーカーで 音楽を聴こう！	1月25日 ほか	男性がものづくりや音楽を通して、仲間づくりを行う講座を実施した。
	その他 16 事業／総計 20 事業／参加 1,922 人		

石野	高齢者講座・石野シニア倶楽部	6月18日 ほか	地域高齢者が生きがいを持って暮らすことができるよう学習や情報を提供し支援する講座を実施した。
	石野地域防災講座	7月17日	地域全体で防災意識を高め、中学生が地域の担い手としての行動や意識付けを学ぶ講座を実施した。
	子ども講座・レッツ・キッズダンス	6月4日 ほか	小さいうちから身体を動かす体験と、放課後の習い事を通して仲間づくりを行う講座を実施した。
	石野マタニティ講座	5月10日 ほか	育児、出産に対する不安解消と父親の子育て参加の意識付け、仲間づくりを行う講座を実施した。
	その他 11事業／総計 15事業／参加 960人		
稲武	どんぐり広場	6月4日 ほか	親の育児不安を解消するため、情報交換、交流の場、ふれあいの場を提供する講座を実施した。
	稲武の歴史を知る	4月13日 ほか	稲武の歴史を学びながら、異世代の交流、担い手の育成、郷土愛を育む講座を実施した。
	ランプシェードづくり	11月8日	地域団体と連携し、木製ランプシェードのPRと製作者の拡大を図る講座を実施した。
	サンデーサロン	3月8日	音楽・芸能に親しみながら交流する場を提供し、文化的生活の向上を図る講座を実施した。
	その他 13事業／総計 17事業／参加 394人		
梅坪台	わくわくチャレンジ夏休み	7月20日 ほか	地域の子どもが、自主グループと交流を図りながら活動し、技術を習得する講座を実施した。
	子育て支援事業・子育てHOTサロン梅坪台	5月14日 ほか	2歳未満の親子を対象に、育児不安の軽減に役立つ学びと仲間づくりを行う講座を実施した。
	縁側 Café ひなたぼっこ	4月23日 ほか	高年大学同窓生と共催で、誰でも気軽に参加でき、様々な体験と交流ができる講座を実施した。
	お月見の会～「わ」を楽しむ	9月6日	昔遊びや琴の演奏、わらべ歌などを楽しみながら地域住民が交流できる「お月見の会」を実施した。
	その他 22事業／総計 26事業／参加 2,132人		
小原	小原キッズクラブ2014	6月1日 ほか	さつま芋作りやバルーンアートを学び、地域行事への参加体験を通し異世代交流する講座を実施した。
	すくすく講座「おばらっきー組」	5月16日 ほか	未就園児と親を対象に、フラダンスやクラフト作りを通して子育て世代が交流する講座を実施した。
	環境講座「ホテルを視様」 みよう	4月25日 ほか	敷地内での保全活動や鑑賞会の企画運営を通して、地域づくりにつなげる講座を実施した。
	わくわく体験DAY	7月20日	自主グループの活動体験と、ものづくり体験をブース形式で行い、地域住民が交流する講座を実施した。
	その他 5事業／総計 9事業／参加 6,685人		
上郷	お父さんといっしょ夜の生きもののさがし	7月20日 ほか	矢作川河川敷で夜の昆虫観察を通し、環境や生物について学ぶ講座を実施した。
	親子講座上郷すいすいクラブ	11月5日 ほか	子育て中の親が思いを共有し、育児不安の解消を図るとともに、仲間づくりを行う講座を実施した。
	kokoro つなぐカフェ	7月24日 ほか	カフェボランティアと共働で、地域住民を対象に、コンサートを中心とした交流の場を提供した。
	かんたん木の実でつくるX'masリース	11月26日	自然素材を用い創造力を高め、環境への理解を深める講座を実施した。
	その他 20事業／総計 24事業／参加 4,530人		

猿投北	ほたるまつり 2014	6月21日	ほたるウォークなどを通し、地域の自然環境に対する意識・関心を深めるイベントを実施した。
	暮しを彩るハーブ講座	7月5日 ほか	身近にあるハーブの活用法を学び、生活に取り入れて楽しむ講座を実施した。
	お母さんの ホッとステーション	4月23日 ほか	様々な体験を通し、交流を図りながら子育て問題の解決の一助、育児不安の軽減を図る講座を実施した。
	夏休み子ども講座 切り絵	夏休み	地域講師から切り絵の技法やカッターなどの使い方を学び、工作を楽しむ講座を実施した。
	その他 10 事業／総計 14 事業／参加 5,215 人		
猿投台	2014 平戸橋桜まつり 「写生大会」	4月5日	季節を感じながら、猿投台地域の良さを知り、世代を超えた交流を図る講座を実施した。
	園芸ボランティア養成講座 Happy ガーデニング	5月24日 ほか	園芸活動を通じ、潤いのあるまちづくりに関わる人材を育て、花のある交流館を目指す講座を実施した。
	環境講座 飯野川で生き物探し	7月27日	親子で自然環境や保護活動について学び、家庭での環境配慮の意識付けを図る講座を実施した。
	お抹茶でおもてなし	8月24日 ほか	茶道を通して「おもてなし」の心を育み、伝統文化をつなぐ人材を育てる講座を実施した。
	その他 14 事業／総計 18 事業／参加 1,166 人		
下山	下山探訪講座Ⅰ・ 下山の史跡めぐり	6月3日	下山の史跡を訪ね、地域を知るとともに、地域講師の活用と講師後継者の育成を図る講座を実施した。
	親子ふれあいひろば	5月15日 ほか	季節の行事にふれながら、親子のふれあいと子育ての情報交換、母親の仲間づくりを行う講座を実施した。
	下山成人大学	7月15日 ほか	市政や健康など、身近な題材を通して高齢者の好奇心を刺激し、参加者の関わりを深める講座を実施した。
	親子食育講座	11月8日	飾り巻き寿司を通し日本古来から伝わる「おもてなし」の文化や心に触れる講座を実施した。
	その他 7 事業／総計 11 事業／参加 535 人		
末野原	地域の生き物を見つけよう	8月2日	生き物調査活動を通して、親子で自然に関心を持ち地域の環境に目を向ける講座を実施した。
	パパとあそぼう！	7月6日 ほか	親子遊びの工夫の仕方を学び、父親の育児への積極的な参加を促す講座を実施した。
	子育て世代の ライフプラン	11月29日	ライフイベント未来年表を利用し、子育て世代が生活設計と備えについて学ぶ講座を実施した。
	託児ボランティア 養成講座	6月19日 ほか	託児についての必要な知識を習得し、地域の子育て世代の力強い味方となるための講座を実施した。
	その他 22 事業／総計 26 事業／参加 1,003 人		
崇化館	親子で防災～地震対策～	7月13日 ほか	各家庭の防災対策と子どもの地域活動への参画を図る講座を実施した。
	TheChallenge 夏休み	7月22日 ほか	利用グループの学習成果の還元場として、子どもたちへの学習支援と異世代交流を図る講座を実施した。
	陶工房「崇化館」	8月1日 ほか	館の特色である陶芸を通して受講生、ボランティア講師の育ち合い、学びあいを図る講座を実施した。
	なかよし大学	5月15日 ほか	地域社会とのつながりの大切さと貢献の意識を高める講座を実施した。
	その他 9 事業／総計 13 事業／参加 2,211 人		

高橋	多文化共生講座 命を守る日本語教室	12月4日 ほか	地域に住む外国人に対して、緊急時に命を守るための日本語を学ぶ機会を提供する講座を実施した。
	輪・和サロン	5月11日 ほか	地域住民による運営委員会を中心に、交流館を利用して住民同士が教え、学び合う事業を実施した。
	中学生☆レクリエーションボランティア講座	11月9日 ほか	地域の中学生在ボランティアを学び、地域に関心を持って多くの人と係わり合う講座を実施した。
	大人塾 in 高橋Ⅱ	5月10日 ほか	生きがいの発見と環境や経済などを学びながら仲間づくりをし、地域活動に繋げる講座を実施した。
	その他 9事業／総計 13事業／参加 3,324人		
藤岡	わくドキを プロデュース	6月21日 ほか	中高生が企画をし、必要な物の制作やゲームのルール決め、当日の運営を行う事業を実施した。
	わくわく キッズパスポート	5月11日 ほか	下川口自治区の豊かな自然の中で、散策・縄文土器づくり・魚つかみ・火おこしを体験する講座を実施した。
	大人の社会見学	9月24日	車中で藤岡再認識のための検定を行い、稲武の地域活動の場を見学する講座を実施した。
	交流カフェ	4月19日 ほか	ロビーコンサート・ものづくり・歌声喫茶など参加型の内容を組み込んだ事業を実施した。
	その他 15事業／総計 19事業／参加 1,278人		
藤岡南	レッツ！ チャレンジ講座	5月14日 ほか	初心者を対象にハンギングバスケットづくり、大正琴、リラックスヨガを行う事業を実施した。
	マタニティ教室	7月12日 ほか	初妊婦とその夫を対象に妊娠中の不安解消を図り、育児を楽しむ講座を実施した。
	E S D 講座「防災キャンプでまなぼうさい」	8月2日	藤岡南中の「防災キャンプ」の中で地域住民が参加し、知識取得と異世代交流を図る講座を実施した。
	親子創作イベント 講座	8月3日	小学生の親子を対象にエコを意識した牛乳パック工作を行う講座を実施した。
	その他 5事業／総計 9事業／参加 578人		
豊南	婚活陶芸	6月7日 ほか	新しい交流館利用者層の掘り起しと、陶芸体験を通して若者の出会いの場を提供する講座を実施した。
	地域の担い手づくり おたすけスタッフ Jr.	8月17日 ほか	中学生がボランティアとして活躍する場と、異世代との交流の場を提供する講座を実施した。
	リサイクル図書の日	8月31日	除籍本と地域から提供された絵本などを配布し、本のリサイクルを通して交流を図る事業を実施した。
	まな防災 in 豊南	11月16日	被災地の現状の理解や災害時に役立つ体験を行い、地域住民の防災意識の向上を図る講座を実施した。
	その他 11事業／総計 15事業／参加 3,443人		
保見	ベビー講座	1月18日 ほか	3～6カ月児の親子を対象に離乳食や絵本・虫歯について学び、仲間づくりを行う講座を実施した。
	ほみっこ夏まつり	8月1日	工作や楽しいイベントで、親子のふれあいと国際交流の場を提供する講座を実施した。
	環境講座 「川の生きもの調査隊」	7月	地域の川の生き物を調べ、身近にある自然環境について学び、環境への関心を深める講座を実施した。
	ワン・ツー・クッキング	2月7日	親子で「幸せなひと時を台所から伝える楽しさ」を学び、食べることの大切さを見直す講座を実施した。
	その他 8事業／総計 12事業／参加 743人		

前林	子育てぽっぽランド	4月16日 ほか	親子が気軽に集い、遊びを通して楽しく交流する機会を提供し、子育てを応援する講座を実施した。
	みんなで遊ぼう In 前林	8月2日	子どもに、ものづくりや科学に興味を持つ機会として多くのブースで体験できる講座を実施した。
	逢妻女川 講演とつり大会	6月28日 ほか	川に関する講演とつり大会を行うことで逢妻女川の環境への関心を高める講座を実施した。
	Mae・プランニング 講座	4月26日 ほか	地域人材を活かし、鎌倉街道沿いの史跡を訪ねる講座と囲碁講座を実施した。
	その他 18 事業／総計 22 事業／参加 2,789 人		
益富	ますとみゆるやか ネットワーク	5月17日 ほか	ネットワークを広げ、地域内交流や地域活動の活性化を図ると共にニュース紙の発行も実施した。
	ハッピー ベビー！	5月16日 ほか	乳児の成長、離乳食、緊急時の判断方法など、初めての子育てで必要な知識を学ぶ講座を実施した。
	おおきなおへやで おもいきりあそぼう！	7月24日 ほか	子育てサロンや広い空間遊びを通し、異なる年齢の子どもや地域の親子の交流を図る講座を実施した。
	環境講座①・② 益富のホタル	5月13日 ほか	蛍をテーマに、地域に愛着を持ち、自然環境保全活動を知る講座を地区内の2小学校で実施した。
	その他 7 事業／総計 11 事業／978 人		
松平	紅葉の松平で歴史散策	11月16日 ほか3回	家康400年祭を機会に、松平の自然に親しみながら、徳川発祥の地、松平を学ぶ講座を実施した。
	積木ひろば	7月26日 ほか4回	広い部屋での積木ごっこを通じて、親子で創作する喜びと参加者相互の交流を図る講座を実施した。
	高齢者教室	5月8日 ほか5回	高齢者がいつまでも、生き生きとした人生を過ごせるよう、仲間との交流を図る講座を実施した。
	続・イラストを描こう！	7月5日 ほか3回	地域講師が企画運営し、地域の活性化につなげるとともに、幅広い年代が参画する講座を実施した。
	その他 14 事業／総計 18 事業／参加 2,916 人		
美里	環境講座	7月27日 ほか	地域の自然環境に関心を持つ場を設け、地域講師による学習を通し環境意識を高める講座を実施した。
	こどものひろば	2月1日	小学生スタッフを養成し、大人との交流を通し地域の子どもが交流館を身近に感じる講座を実施した。
	みさとカルタ	7月24日 ほか	カルタづくりを通して地域の歴史を学び、地域愛を育てる講座を実施した。
	高齢者教室・ 美里いきいき大学	5月22日 ほか	地域の高齢者が、健康や生きがいをづくりを自ら企画・運営できるよう支援する講座を実施した。
	その他 15 事業／総計 19 事業／参加 2,780 人		
竜神	ウォーキング講座	11月22日	地域会議で整備したウォーキングコースを歩き、まちぐるみでの健康づくりを図る講座を実施した。
	寿大学	6月18日 ほか	地域の高齢者に、生涯にわたる生きがいをづくりや交流の機会づくりの場を提供する講座を実施した。
	集まれ～2歳児 でこぼこキッズ	6月11日 ほか	2歳児の親子の学ぶ場を設け、友だちづくりや子育て中の母親の不安軽減を図る講座を実施した。
	竜神こどもフェスタ	8月2日	地域の子どもたちに、大人との交流や新しい体験の中で学ぶ楽しさと達成感を味わう講座を実施した。
	その他 16 事業／総計 20 事業／参加 2,992 人		

若園	わかぞの庵	4月24日 ほか	茶室を利用して気軽に茶席を楽しみ、お茶の文化継承と交流の場を提供する事業を実施した。
	ボランティア 情報交換会	5月21日	若園地区で活動する団体が集まり、互いの活動について理解を深め、情報交換を行う事業を実施した。
	環境講座 わくわく！川の生き物探し	7月19日	親子で協力して逢妻男川の生物を捕まえ、指標生物から水質判定を行う講座を実施した。
	くれよんクラブ	5月14日 ほか	季節の行事を取り入れた親子遊びや子育て仲間との交流を通して、子育てを支援する講座を実施した。
	その他 29事業／総計 33事業／参加 1,213人		
若林	わくわく チャレンジランド	7月25日 ほか夏・冬・春休み	交流館の利用団体が講師として地域の小学生と交流しながら日頃の学習成果を還元する講座を実施した。
	若林まちゼミ	12月7日 ほか	地域の人材の持てる力を活かし、地域住民の学習に繋げ、学習の広がりをめざす講座を実施した。
	高齢者講座・ 縁ジョイ☆シニア塾	6～12月	高齢者が学びを通して交流し、生きがいをづくりや仲間づくり、地域での活躍をめざす講座を実施した。
	わかばやしカフェ	4月11日 ほか	音楽を楽しむなど地域住民の交流を図り、絆を深める講座を実施した。
	その他 16事業／総計 20事業／参加 4,130人		

利用実績

施設名		件数	人数	利用内容
逢妻交流館	会議室等	2,612	34,853	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	45,104冊	9,276	図書の貸出し
	その他	—	39,929	個人利用
旭交流館	会議室等	910	10,523	会議・研修・講座など
	図書室	7,230冊	1,867	図書の貸出し
	その他	—	6,067	個人利用
朝日丘交流館	会議室等	6,118	82,379	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	60,720冊	13,402	図書の貸出し
	その他	—	63,102	個人利用
足助交流館	会議室等	2,538	43,222	会議・研修・講座など
	図書室	15,844冊	3,785	図書の貸出し
	その他	—	52,971	個人利用
トレーニングセンター他 体育施設		1,510	33,097	グラウンド・テニスコート・体育館・弓道場利用等
井郷交流館	会議室等	4,050	61,772	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	155,727冊	30,563	図書の貸出し
	その他	—	157,454	個人利用
体育施設		1,775	43,544	体育館・武道場
石野交流館	会議室等	1,676	21,197	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	12,618冊	2,937	図書の貸出し
	その他	—	25,889	個人利用

石野運動広場		466	12,102	グラウンド利用
稲武交流館	会議室等	762	10,821	会議・研修・講座など
	図書室	5,114 冊	1,332	図書の貸出し
	その他	—	11,392	個人利用
梅坪台交流館	会議室等	4,468	63,276	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	53,942 冊	13,450	図書の貸出し
	その他	—	41,530	個人利用
小原交流館	会議室等	1,932	33,021	会議・研修・講座など
	図書室	13,498 冊	2,870	図書の貸出し
	その他	—	11,841	個人利用
上郷交流館	会議室等	5,550	116,953	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	172,637 冊	33,232	図書の貸出し
	その他	—	186,536	個人利用
上郷公園		890	17,864	グラウンド利用
猿投北交流館	会議室等	1,668	23,557	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	16,647 冊	3,788	図書の貸出し
	その他	—	35,948	個人利用
猿投台交流館	会議室等	2,509	33,834	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	38,553 冊	9,296	図書の貸出し
	その他	—	32,564	個人利用
下山交流館	会議室等	1,024	11,034	会議・研修・講座など
	図書室	11,037 冊	3,091	図書の貸出し
	その他	—	13,464	個人利用
末野原交流館	会議室等	4,002	59,304	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	87,382 冊	19,539	図書の貸出し
	その他	—	49,784	個人利用
末野原運動広場		810	27,076	グラウンド利用
崇化館交流館	会議室等	7,610	92,854	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	38,177 冊	8,810	図書の貸出し
	その他	—	60,769	個人利用
高橋交流館	会議室等	3,528	59,915	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	41,189 冊	9,275	図書の貸出し
	その他	—	59,416	個人利用
高橋運動広場		856	7,946	テニスコート・ゲートボール場利用
藤岡交流館	会議室等	2,385	28,451	会議・研修・講座など
	図書室	17,862 冊	4,108	図書の貸出し
	その他	—	34,257	個人利用

藤岡南交流館	会議室等	1,343	22,607	会議・研修・講座・など
	図書室	18,573 冊	3,483	図書の貸出し
	その他	—	15,919	個人利用
豊南交流館	会議室等	4,379	68,401	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	107,463 冊	24,229	図書の貸出し
	その他	—	134,214	個人利用
保見交流館	会議室等	4,318	66,448	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	138,527 冊	29,738	図書の貸出し
	その他	—	21,237	個人利用
保見運動広場		1,714	24,858	グラウンド、テニスコート等利用
前林交流館	会議室等	2,637	31,224	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	16,783 冊	4,022	図書の貸出し
	その他	—	22,291	個人利用
益富交流館	会議室等	3,310	45,049	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	41,073 冊	10,094	図書の貸出し
	その他	—	34,550	個人利用
松平交流館	会議室等	3,033	48,756	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	36,961 冊	7,739	図書の貸出し
	その他	—	46,937	個人利用
松平運動広場		516	15,490	グラウンド利用
美里交流館	会議室等	4,239	50,453	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	39,457 冊	8,628	図書の貸出し
	その他	—	41,179	個人利用
竜神交流館	会議室等	3,615	66,724	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	76,269 冊	15,572	図書の貸出し
	その他	—	55,084	個人利用
土橋公園		1,393	20,622	グラウンド・テニスコート等
若園交流館	会議室等	2,693	35,995	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	35,909 冊	8,643	図書の貸出し
	その他	—	27,515	個人利用
若林交流館	会議室等	3,708	61,664	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	66,900 冊	15,255	図書の貸出し
	その他	—	26,283	個人利用

9 教職員会館

教育関係職員等の研究・研修活動の拠点施設として、教育文化の振興の寄与に努めました。テニスコートにおいては、広く市民に開放し、体力の維持・増進とコミュニケーションづくりに貢献できるよう、より質の高いサービスの提供を目指しました。また、安全・安心で効果的な施設運営を行うとともに施設の認知度を高め、利用の増加を図りました。

なお、宿泊施設は平成26年度から廃止しました。

■施設運営

職員の創意と工夫により、快適な環境づくりに努め、研究・研修施設としての役割の充実と利用率の向上を図るとともに、利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応により利用者満足度（CS）の向上に努めました。また、経費の削減に取り組む一方、安全管理に対しては職員一人ひとりが知恵を出し合い、信頼される施設運営を行いました。

利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
会議室等	1,872	46,248	会議・研修会等
テニスコート等	839	4,552	テニス
計	2,711	50,800	